大正九年七月廿八日印刷納本 大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正九年八月一日發行（毎月一回一日發行）

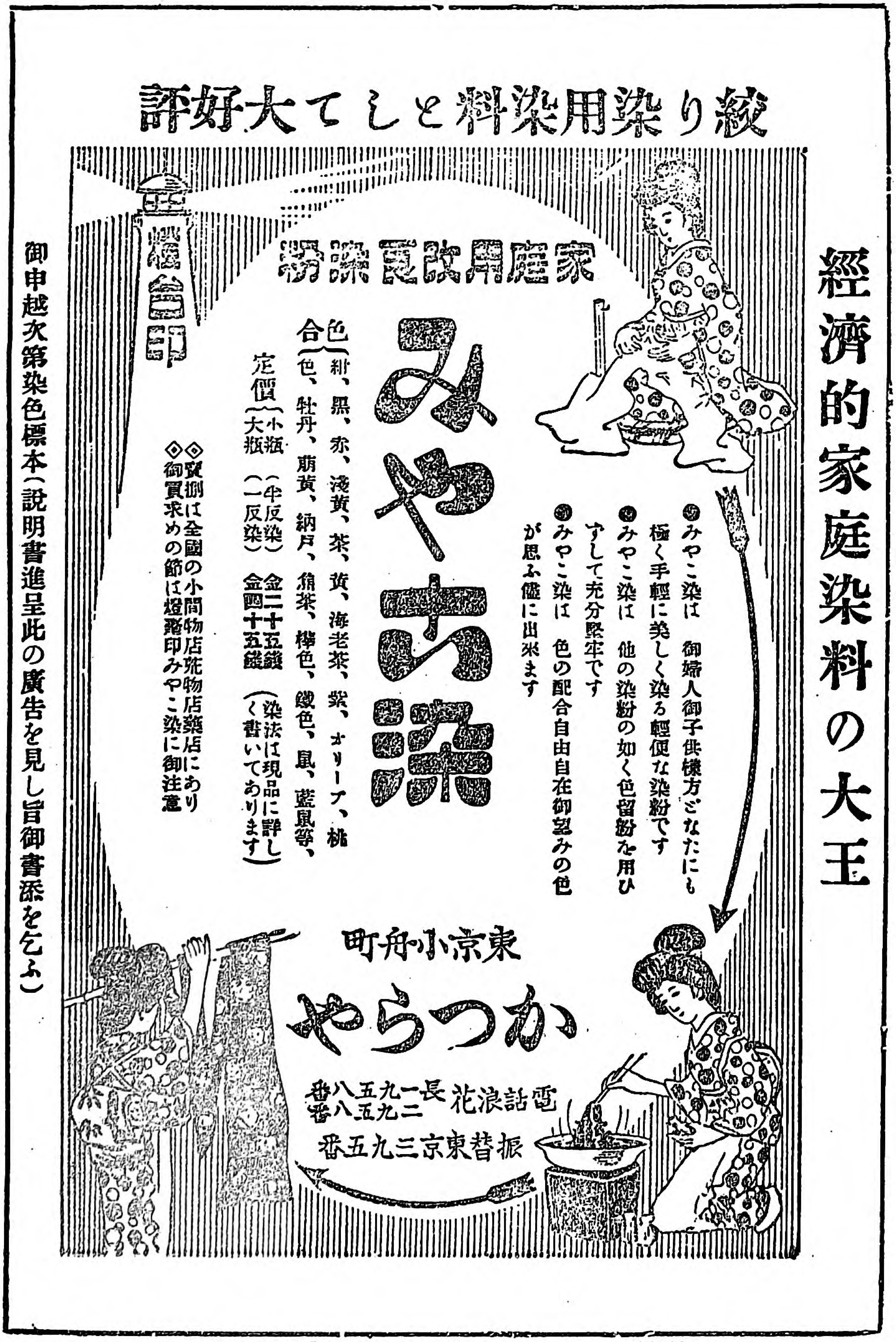
處女の友

八月

3巻8号

第三巻 處女會中央部發行 第八號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

前共立女子職業學校教師 遠藤錠子 高田久子共著

續々裁縫おさいく物 二

（おもちや集）

和装菊版全一冊

定價 金壹圓七拾錢

郵税金十二錢

本書は家庭に於ける小ぎれ節約の利用方便として有益且つ興味あるおもちやの製作を娯のうちに研究し得る新著にして説明は簡易平明製作の詳細を會得する樣に力め艶麗なる原色圖と完全なる型紙を附しあれば居ながらにして趣味ある實物を製作し得らる先づ一本を購ふて試みらるべし。

伊藤文子、小川錠子、高田久子共著

裁縫おさいく物

第卅五版

和装菊版全一冊

金壹圓八拾錢 郵税金十二錢

伊藤文子、小川錠子、高田久子共著

續裁縫おさいく物

第十七版

和装菊版全一冊

金貳圓貳拾錢 郵税金十二錢

東京市日本橋角 大倉書店 振替東京二三八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女の友

八月號目次

大正九年八月一日發行

○表紙 □野の幸……………………田代紫光筆

○口繪 □

▲記事

▽巻頭日々の心がけ……………………一

▽日本婦人の長所と短所……………………二

▽仕事の樂しみ……………………吉川民子 五

▽女工さんの爲めに……………………西島當壽 七

▽着物の模樣と其着方……………………Y T 九

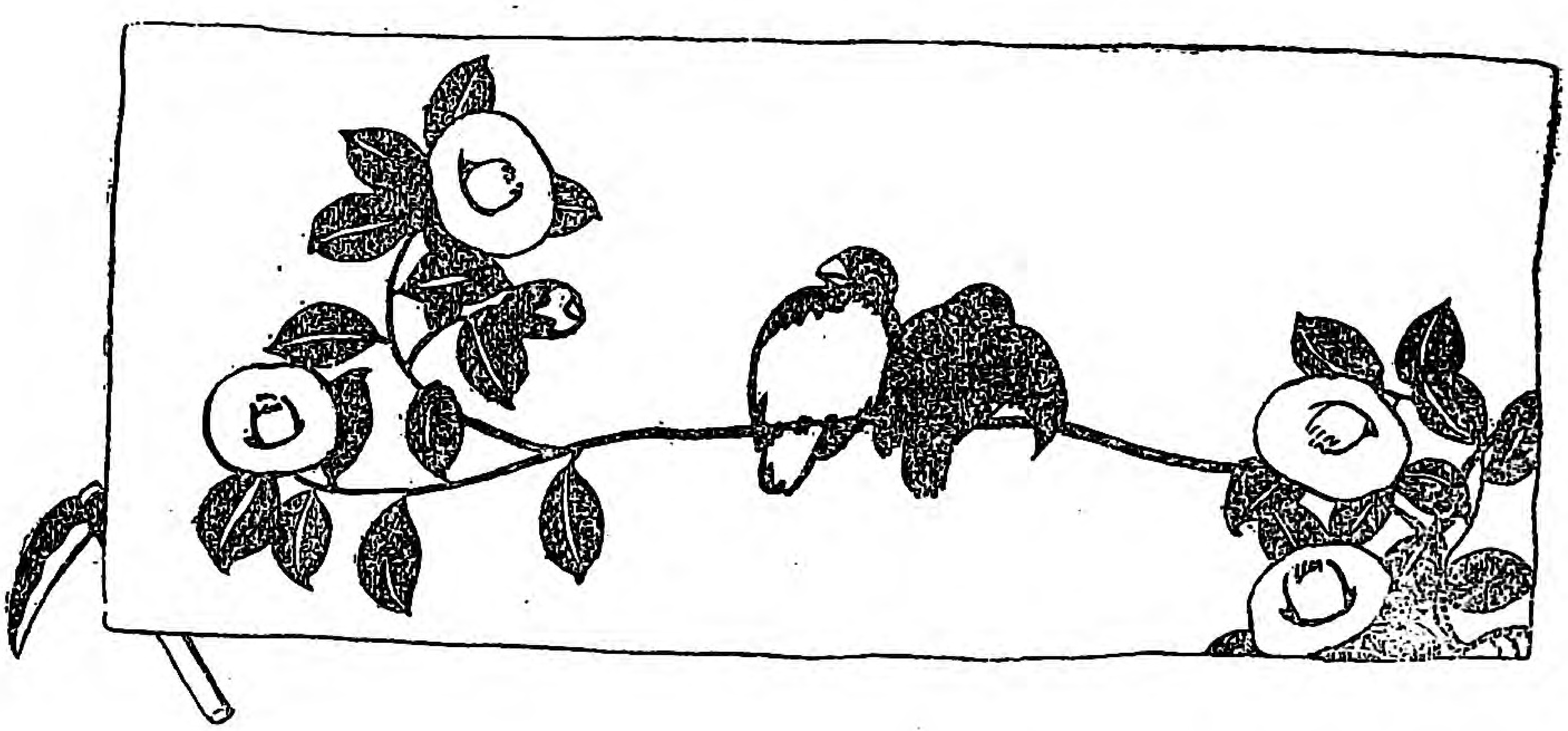
▽人のたふとさ卑しさ……………………天野藤男 一一

▽處女會の歌『野の幸』の蓄音機……………………一五

▽處女歌劇『月の世界から』……………………一六

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



▽都にあこがれて（其七）……白雲生作…二

▽お嫁入を儉約して五十圓の寄附……二五

——谷口かつゑ子の美談——

▽小説 友情……深緑艾…二九

▽螢について（入社の辭に代へて）……三五

▽地方處女會通信……四〇

▽描かれた娘……天野雉彦…四三

▽盆踊の歌……四七

▽汗と涙の一千圓……四八

▽處女歌壇……四九

▽臺所手引……五一

▽誌友くらぶ……五二

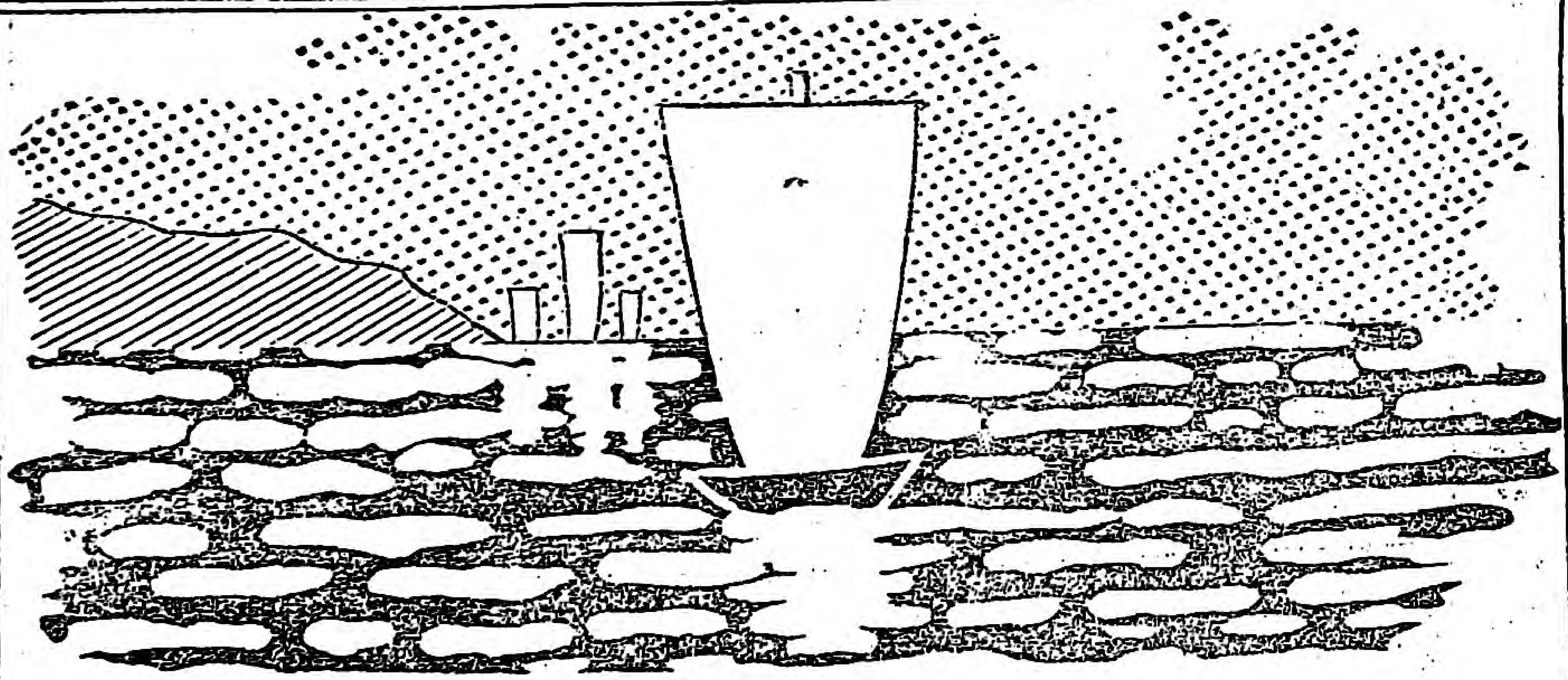
▽誌友名簿……五四

▽考へ物のこたへ……五五

▽編輯だより……五六

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



海水浴にも
登山にも

絶對に日ヤケを防ぎ
始終お顔を色白く艶麗に保つ

ホーカー液

定價送料	
大瓶	一圓十五錢
中瓶	五十八錢
小瓶	二十八錢
內地	六錢
滿鮮	四十錢

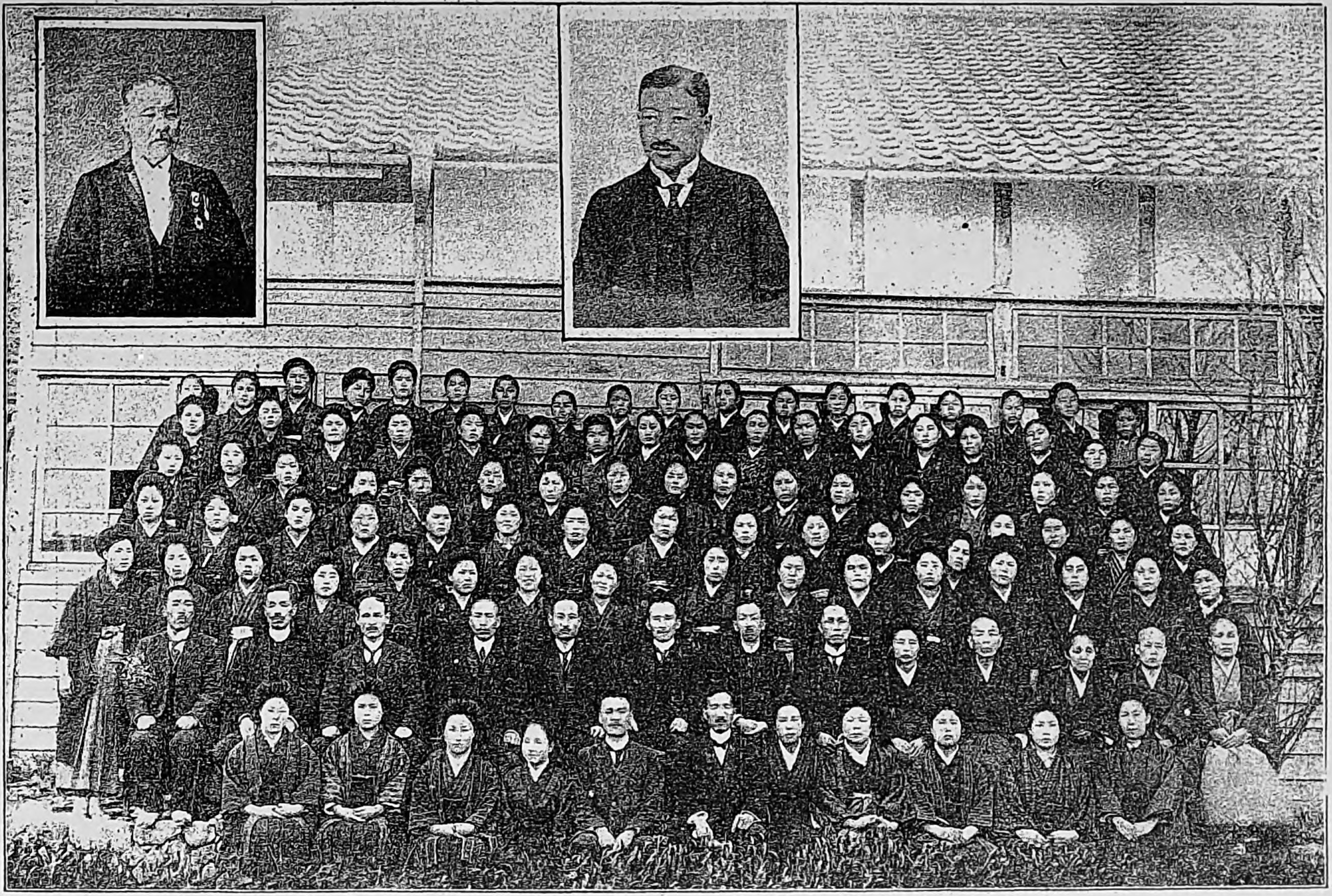
特長

□色を白くキメを細かに艶を増す
□絶對に夏の日ヤケを防ぎアセモを除く
□白粉下にすれば化粧崩れの心配なく
□ヒゲソリ後にツケればカブレを防ぎ
□小皺を伸ばしお年を若かく見せる

東京市神田區和泉橋
ホーカー化粧品本舗
堀越嘉太郎商店
電話神田 一三、一四、一五
振替東京 一五六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

三重縣女子家政學校卒業記念



右上は山脇知事（本會理事・山脇房子先生の令嗣）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

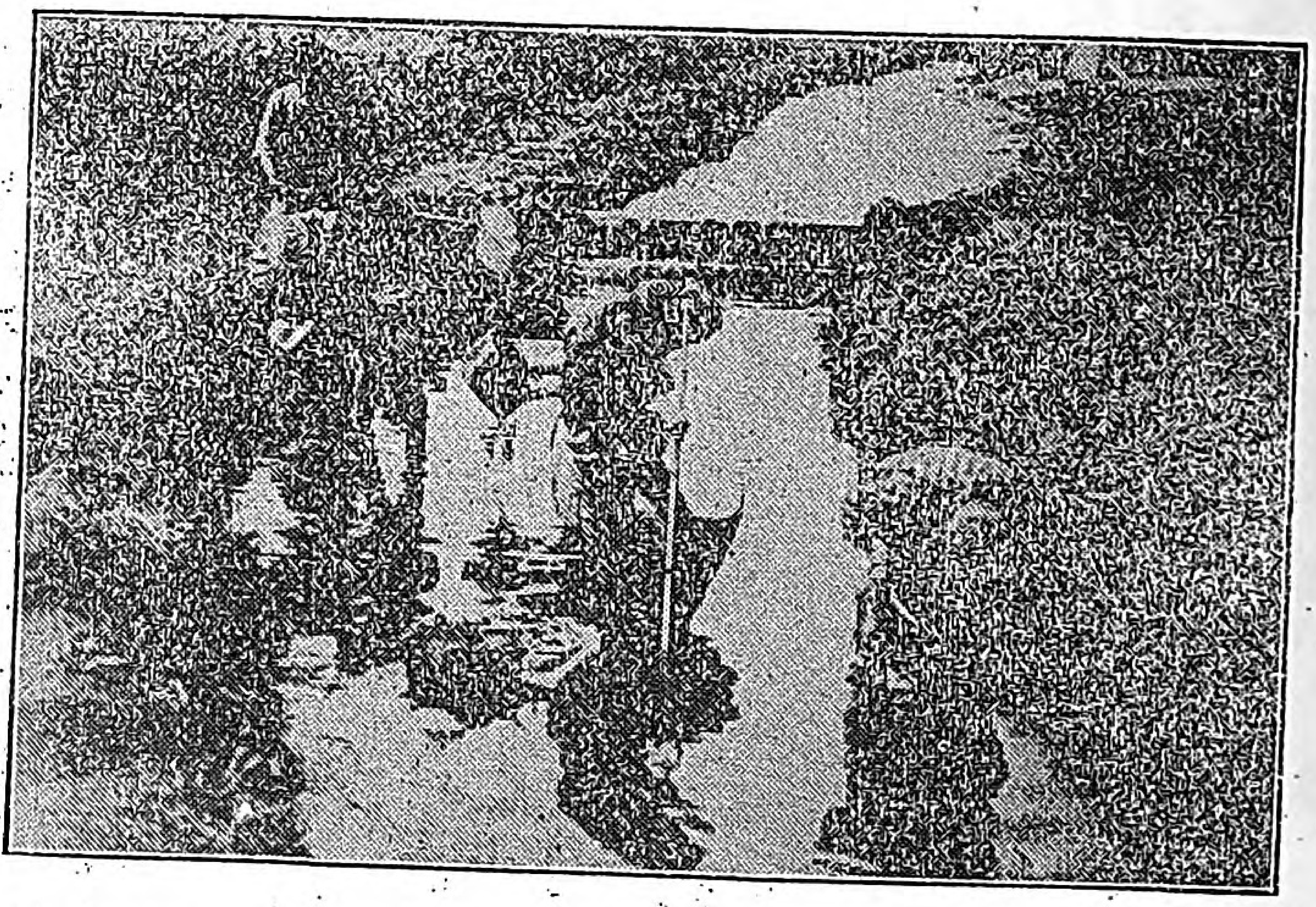
和歌山縣伊都郡橋本町菖蒲谷婦女會幹事

前列左ヨリ市村會長（市村法學士夫人）、志原橋本町助役、
橋本高女矢島校長、高本郡農會技手、石井顧問（小學校長）

群馬縣新田郡太田裁縫女學校

（大正九年三月卒業生）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



（幸福な田舍の子供）

日々の心がけ

田子一民

一、德を冥々の裡に積むべし、人の知らぬ德を樂しみとして積むべし。

一、論議をやめて畑を掘るべし、田を作るべし。

一、讀書すべし靜想すべし、而して之を活用せよ。

一、父母の心を察すべし、親は誰よりも子の身を安じゐるぞ。

一、恩ある人を忘るゝな、地方改良も之が出發點ぞ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

日本婦人の長所と短所

□優しき中に強く

日本婦人は外國の婦人に見ることが出來ない多くの美點と長所とを有するが、一面には又矯正せねばならぬ缺點、短所も少くない。中には、長所で知らず知らず短所となつたものもある。短所を改めると共に、長所を助長して、益々其の特長を發揮することが肝要である。

第一日本婦人は、心根が優しく、思ひやりが深く、何事も控へ目で、動作も落ちつき、出過ぎた振舞がなく、家に居つては老人を敬ひ、兒女を愛するといふ、長所をもつてゐる。

□判斷力を養へ

然し是も中庸を得ることが必要である。控へ目が過ぎて、言はねばならぬことを言はず、爲さねばならぬことを爲さずにゐたりするのは、遠慮でも謙遜でもない。固より婦人の外出好き、遊山好きは、愼まねばならず、又聞かれもしないのに、高慢顏に差出口するのは、よくないことであるが、然し是からは當然言は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ねばならぬことは、ハッキリといふがよい。

優しみは女の天性ともいふべきものであるが優しさに過ぎると、心が弱くなり、女々しくなり、しまひには、愚痴となり、不平も出るのである。眞の優しみは、強い心から湧き出ねばならぬ。又我邦の婦人は、感情に囚はれて、理性を缺くといふ缺點もある。冷靜に考慮し、公平に物事を判斷する修養をも積まねばならぬ。

□盲從するな

第二には、服從の美德に富み、父母や上長に仕へて從順であるばかりでなく、或時には親の爲に、家の爲に、又主家に身を犧牲とする、勇敢にして高潔なる美德がある。是は一面家族制度にも負ふてゐることゝ思ふが、是からは、服從も時と場合に依ることで、泣く子と地頭には勝てぬといふが、泣く子は兎に角、譬へ主人でも、長上でも、我が人格に關することや自尊心を傷けられるやうな命令であるならば斷々乎として拒絕するがよい。服從と盲從とは似て非なるものである。

□見識を持て

然し是も素を質せば、今までの女子が身體が弱り、智識と見識に乏しく、經濟上の能力をも缺いでゐたといふ弱身があつたことにも原因してゐるのであるから、將來の婦人は、身體と精神と双つながら鍛練して、相當の見識をも持ち自ら卑うして不利を蒙ることのないやうにしなければならぬ。

□研究心を養へ

次には日本婦人は、一般によく働き、儉素であるといふ特色もあるが、業務を爲すに、規律がなく、秩序がなく、又經驗や習慣にのみに依つて事を爲し、新規に事物を考へ、工風をして、業務なり、生活なりを改善革新してゆくといふ風がない。固より衣食住の生活の樣式などは、婦人のみの力では改良することは、困難ではあらうが、今後の婦人は、今少しく、研究心を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

養ひ、發明心と創造力を進めてゆくことが肝要である。

□食物の儉約は考へ物

質素は古今東西を論ぜず、男女共通の美德には相違ないが、心身營養の爲とか、生活を向上する爲とか、又は社會公共の福利を增進するに要する費用は、或程度までは吝みなく支出しなければならぬ。其が爲の勤勞であり、儉約であり、貯蓄であるのである。殊に食物は營養の素であるので、儉約を穿ち違へ、粗食に過ぐるなどは、戒むべきことである。主人や子供の殘肴を食膳に据ゑて、之を誇りとし、主婦の嗜なみとするやうなことは、誤つた考へである。

□度量をひろく

第四に日本婦人は、考へが緻密で、家の內外の掃除や整頓に長じ、親族間の交際にも巧みであるが社會生活に至つては不得手であるのは、短所である。是は一つは今までの風俗習慣が然らしめたので、女子のみを深く咎むべきではないが、是からは、家事をおろそかにせざる範圍に於て、修養や趣味に緣ある凡ての會合には、力めて出席して見聞を弘めると共に、廣く世事に馴れ、社交に練熟するやうにせねばならぬ、家にのみ閉ぢ籠つてゐたので知らず〳〵考へが狹くなり、他と交際することを厭ひ、偶々交際すると嫉妬や猜疑心を起して、廣い世間を狹くするのである。我邦各種の婦人會が振はない主もな理由はこの協同心が乏しいからである。是からの婦人は、つとめて度量を廣くし、人を包容するやうにしなければならぬ。

伊達政宗の教

仁に過れば弱くなる
義に過れば固くなる
禮に過れば諂となる
智に過れば虛をつく
信に過れば損をする

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

仕事の樂しみ

本會評議員　吉川民子

□この時の嬉しさ

機械の應用が今日の如くまだ廣く亘らなかつた昔の時代には、どのやうな面倒な仕事でも一々人の手によつて仕上げられたものであります。

或日針を造る職人がせつせと其仕事を勵んで居りますと折しも通りかゝつた一人が立ち寄つて暫く之を見物して居りましたが、あの細いものに一々穴を明けて居る面倒さを嘆じて「これは、まあ大へんですねー」と言ひました、これを聞いた職人は微笑して「これでも徒見て居る人よりは、よほど樂ですと」答へた、と云ふことがありますが、外部から見て堪へられぬと思ふほど面倒な仕事でも精出して遣つて居る人には、仕事其ものから湧き起る興味に勵まされて、さほど苦勞には感じないものであります。例へば裁縫をするにしても、又機を織るにしても、煩はしい手の運びも次第〳〵に重なつて目的通り一つの物の出來上つた時のうれしさは何とも云ふに言はれぬ味が感じられます、とても再使用にはならぬと思ふほどの布片でも接いだり合せたりして丹精したものには出來上つた時のうれしさにも一通りならぬものがある。此時の嬉しさ樂しさは苦勞なしにすら〳〵物を新調する人々の夢にも味ひ得られないことであります。

□樂ばかりして居る人には

殊に又何事でも其道々に熱心するときは、其處に進

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

歩があり、上達があり、改良發展が伴つて益々面白くなり、樂しくなつて來て常に精神が生き〳〵と緊張つて居つて、身體も隨て人並以上に健康を保つことが出來る。これが乃ち努力から生ずる賜もので、いつも怠惰て居る人々には、どうしても頂くことの出來ない神樣からの御褒美であります。

□無爲の苦しみ

或土地に向ひ合つた貧家と富家がありました。一方は土地に名うての財産家であるが爲めに召し使ひの男女も多く、一人のお孃さんは何一つ用事といふことはせず毎日樂に遊んでばかり居りました。これに反して一方の家の娘さんは財産も何もない貧家であるが爲に朝から晩まで一寸のひまもなく洗濯裁縫使歩きから時に男の仕事までに追ひ使はれてばかり居るにつけて羨ましいのはお向のお孃さん「同じ人間と生れながらかうも段の違ふとは神樣もあんまりだ」と毎日〳〵不平ばかりこぼして居りました。

不思議な事には向のお孃さんも色は違へど同じ不平「向の娘さんのやうに元氣で働いて見たい」と愚痴ばかり、くりかへして居りました。そこで雙方の父が一案を回らして談合の上二人の位置を暫時とりかへて見ることにしました。

貧家の娘さん日今からは大家の令孃で上から下まで絹布づくめ立派なお座敷に厚い座蒲團を重ねて端然と座らされ、三度の食事も上げ膳下げ膳給仕が運びますので何一つ仕ることはなく、終日端然と座つて居る窮屈さは一通りでなく、今まで働きつけた身體には足のしびれは絶間なく、運動不足のために結構なお料理も味なく三日四日と經つうちにだん〳〵苦しくなつて來て十日目にはもう辛抱も我慢も出來ず「御免下さい」と逃げ出してしまひました。

此方では彼お孃さん朝から襷がけでどん〳〵働き出したものですから見違へるほど血色もよくなり今迄の沈欝に引かへて生き〳〵とした人になつて「私いつまでも自宅へは歸りません」と言はれたといふ話です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

女工さんの爲に

本會評議員　西島富壽

△職業の紹介

處女會が中心となつて勞働を志す農村處女と工場主との連絡をとつて頂き度いと思ひます。各地方の處女會幹部の人が處女會員の內生活を調査して中央部と交涉して確かなる適當の職業を與へ給料を前借にするにしても其何割かを本人の將來のために貯蓄してやるやうな方法を取つたら、眞面目に働く決心で職業に從はんとする本人としても幸福であらうと思ひます。

△情ない親

情ない親になりますと娘を工場で働かして賃金の前借をし度り、內々何程かづゝ送らせるといふ希望から經濟上餘裕を得たのに安心して心がゆるみ惡い遊びを覺へ娘の働きを當にするばかりでなく、折角先祖から幾分傳へられた財産まで失ふ事になる。尤も恁んな例は數少い事ですけれど、折々こんな親のある事を知りましたので、これらもよほど同情をもつて考へてやらなければ本人の働きが無益になると思ひます。

△氣毒な娘

さうした親が多くなりますと誠に氣の毒なのは娘でありまして、毎日毎日容易ならぬ苦しみで得た、汗の結晶である賃金は親に使用され自分としては唯何の慰安もなく無暗に働くといふ誠に不幸な目に遇つては辛い業務も何を樂しみに働きますでせう。これ等の娘たちの心も充分察してやつて確乎とした賃金の方法を定めて働きがひのあるやうに處女會と工場主とがしてや

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

らなければならぬと思ひます。

△時間と衛生

衛生に就ても種々考へて居ますがそれには時間といふ事が非常に關係して居ると思ひます、晝業午前六時から午後八時迄十四時間すませて睡眠時間の得らるゝ時はよいとして夜業一週間の後には女工の體量が非常に減つて一週間の晝業で復舊する體量よりも尚減る方が多く次第次第に女工の體量が減つて行く狀態にあつて女工の健康狀態はますく惡くなつて參りますから工場主側では新らしいのを望む傾があります。

△二重生活

それなら夜業の際は晝間睡眠時間を與へたらと思はれますが晝間は如何しても周圍がさわがしくて安眠が出來ません。殊に婦人は家庭にあつて妻として母として種々雜用を捨てられず二重生活をしてさういふ晝間を睡眠時間にする事は困難であります。外國の婦人には隨分職業に沒頭して生涯獨身で終る人もありますが日本の婦人は結局妻として母として婦人の天職を忘れず女らしい道を行くのが適當であり幸福であると思ひます。

△準備教育

それには工場に働き乍らも妻として母としての教養を怠らず人格を高める修養の機會を與へる事が必要であると思ひます。京都綾部の郡是工場など非常に行屆いたもので、作法、料理、裁縫、等工場に働き乍ら教へを受けられますので其處の工女は一般に程度が高く普通の實科女學校を卒業した位の實力があつて結婚に就ても「あの工場に居たのなら」と非常に受けがよく一種の誇となつて居るさうです。一體工女上りといふものは農村に歸つて眞面目に家庭の仕事をするのを嫌がる風ですから貴い作業の時間も修養のために割いて緊張した心で働かせて能率を増すやうにしなければならぬと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

着物の模様と其着方

Y T

一枚の着物を着るにも帶を締めるにもよく似合ふのと似合はないのとがあります。自分の身體にしつくりと調和して居るのは相手の人には快感を與へ自分にもこころもちのよいものでも。この點に於ては都會の人は其撰び方が上手で地質はたとへ粗末なものであつてもさも上等の品を用ひて居るやうに見え、田舎の人は之に反して上等の品を用ひながら勿體ないと思ふほど見劣りのする場合が澤山にあります。

大體に於て都會の人は縞柄、模樣を見立てる眼が長じて居るに反し、田舎の人はこの點が幼稚であるらしく思はれるのでせう。

都會の娘さんと田舎の娘さんの二人連れ

先頃私は上野公園で二人の娘さん連れを見ました。言はずと知れた東京の人と田舎の人、東京と覺しき娘さんは髮を桃割れに結び根に巾廣のたけながをかけ、縮緬つまみ細工の花かんざし一本前にさし、とき色縮緬の半ゑりに、着物は紺地に藍筋の大柄のちゝみ、帶は赤と水淺黄染め分けの鹿の子しぼり（メリンス）に何か打合せの帶を上の方にキリーと締めた下町風、今一人の田舎出と思ふ方は、白つぽい地に紫矢絣のお召ちりめんの着物に友禪と刺繍の半ゑり、帶は糸錦やうのもので赤の地色に縫ひもやうある極彩色のもの、髮は舊式の束髮といふ扮裝、この二人を比較して見ますと田舎出の娘さんの方が着物といひ、又帶と云ひ隨分高價なものを着て居るに反して東京の方のは其衣裳の價は其半分にも足らぬ品物でありました。然るに一寸見たところ其粗末な物を着て居る人の方が數倍たち優つて美しいのは、卽ち其衣裳の見立てと調和がいかにもよいからであります。それ故美しく見せるにあながち價の高い物を用ふるにも及ばず、又無闇に流行を趁ふにも當りません、自分々々の體格やら、顔かたちやらを、よく〳〵考へてそれに相應しいやうに撰定して行くことが必要なのです。

背の低い人は縦縞を、高い人は縦横を

肥つた背丈の低い人が大柄の絣などを着ると、身體

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

を餘計肥らせて見せて感じのわるいものです、この場合絣の着物に代へるに縞物を以てしたら必其婦人は引き立つて見えるのです。其縞物も横縞でなく、さつぱりとした縦縞であつてほしい、人の眼は横に高いものであつて縦にものを見るよりは横に視界を移して行く方が樂であるために、勢、横に動いて行きます。肥つた人が横幅を見られゝば甚困ることであるのに、縦縞のものを着て居れば人々の眼は其線の方向に引付けられて、横幅の方に視界を外らすことが尠少くして肥つた人もさほどになく似つかはしく見えるに至るものであります、瘠せた背丈の高い人にあつてもこの心理的の説明によつて反對の方法でさほどヒヨロ長く見えないやうにすることが出來ませう。

又顔や襟首の色の黒い人が鮮明なケバ〳〵しい半襟を着て足ては襟の美しい色に顔の方が負けて、一層色が黒く見えるものです、これと反對にすこし地味と思ふ位の無地か又質素なもやうの襟を着て居る時はずつと顔が引立つて見えるものです、近頃無地の半ゑりが大ぶん流行つて居りますが、色の黒い日本人の顔にはよく似合つて、ケバ〳〵しい極彩色のものよりは、ずつと高尚でよいと思ひます。西洋婦人は無地ものを多く用ひますのに反して日本の婦人はあまり模様物や縞物を多く用ひすぎるやうな感じがします。西洋人と日本人とは趣味嗜好も異り、習慣もちがひますから西洋人のやうに着物に無地を用ひるといふわけにも行きますまいが無地と模様及縞物とは手數から費用からが大違ひであるがために出來上つた反物及布帛の價格が大さうなちがひになります。着物は別としても半ゑりなどはなるべく無地か又刺繍にしても、もすこし質素な低廉な價のものを用ひたいと思ひます。

一かけの半ゑりに十圓も十五圓もお金を出すやうなことは一家經濟(否國家經濟)の上に著しい損害です。

(以下次號)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

人のたふとさ卑さ

天野藤男

(一) 畜生道

尼港のこんどの出來ごとは、皆さんが新聞で御承知の通り、人道上許すべからざる罪惡で畜生道とも何んともたとへることの出來ない仕業でございます。七百人の尊い同胞が惡魔の爲に刺されたり、殺されたりしたといふこと、之に對する同胞の同情は頂點に達して只今東京では、追悼會やら、供養やら、遺族の爲に義損金を募集するやらで、みんな奔走して居ります。富士死斯紡績の保土ケ谷工場の處女會員も、工場長からお話をきゝ、一千圓の寄附を申し出られました。是も美談となつて居ります。(別項をみること。)

(二) 恐ろしいものなしの惡人

四方の海みな同胞と思ふ世に
　など荒波の立ちさわぐらむ

畏くも明治天皇はこう仰せられました。世界は國と國とに別れてゐますが、人としてみるとき、國民は誰も彼もみな兄妹であるのです。愛し合て、信じ合つてゆくべきであります。今度の大戰爭はもう戰爭のしじまひです、七百萬人のたふたい人の命を失ひましたがあれは戰爭の最後で、もう戰爭をしない爲に、あの大戰爭をしたのです。

所が戰後に今度の樣な極惡非道の出來ことが起らう

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

とは思ひませんでした。抗義を申し込みたいにも、相手のロシヤは、國の内が亂れて、皇帝もなければ大統領もない、政府でも困つてゐるやうです。

バルチザンといふのは、日本の山賊のやうなもので義理人情どころか、神も佛も信ぜず、自分のすることが一番よい、世の中に恐ろしいものはないと考へてゐる惡魔ですからたまりません、人を殺すことを何んとも思つてゐないのですから、もう人でなく毛物です、否毛物にも愛があります。

（三）　人は神なり毛物也

然し皆さん、私たちの心の中には、愛、慈悲、涙、情けといふやうなたふといものが秘んでゐると同樣に、一面には妬嫉、疑ぐり、冷酷、慾ばりといふやうなよくない心があります。半分は神さまで、半分は惡魔だといつた人があります。

わが心鏡にうつるものならば
さこそ姿のみにくからまし

仍で人は、宗教を信じ、道徳を修め、よい習慣を積み、よい友達に交つて、常に惡るい考のはびこらぬやうに、正しい道を進んでゆくようにせねばなりません。少しでも心に惡い草がはへたならば、自分で刈り取るのです、うつちやつて置くと、惡い心が一ぱいになつてしまひます。人殺しをする人も、赤坊の時からさういふ性質で生れて來だのではありません。「習ひが性」となるのです。

（四）　人のねうちのわけ方

世の中の人をいろ〳〵分け方があります。身分といふことはあまり好みませぬが、其でも身分のたふといふ人と低い人とがまだありませう。お金のある人はたふとく、ないものは卑しい。學問の出來る人は出來ない人よりたふとい、力のある人はない人よりたふといでせう。

然し私は別に人のたふとさをきめたい、其は愛の深さに依つてきめたいのです。愛する心の大きく深い人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ほどたふとい人であると思ひます。人はもとより、虫けらでも草木でも、月や星のやうな無心の物でも、さうです。深く廣く愛し得る人が一番たふとからうと思ひます。之に反して卑しい人は、愛の心の乏しい人です。

人と毛物と異るのは、つまり愛の心の深さ淺さです、親が子を愛し、子が親を愛するの心は、犬にも猫にもあります、否、人より犬や猫の方が一寸みた所では深いかもしれませぬ、然しほんとうの愛は、口で甞めたり、頰ずりしたりするばかりではないのです。心の中で深く愛しながら、あまり形に現はさず、常にその子を正しく導いてゆく、こういふ親の愛が眞の愛です。

(五) こういふ母親

「自分の生んだ子だから」「身體をいためたから」「老後には、この子に死に水をとつて貰ふから」といふ考へで愛するのも自然ですが、さういふばかりの愛は眞の愛とは言へません。自分の子ばかり猫可愛する母親はみにくいものです、みにくいばかりか、その人に眞の愛の足りないことを表はします。表から我子が泣いて來る、どういふ原因か知かりもせず、すぐに「ではあの隣りの子がまた」と憎しみをもつような母親が多うございます。是はいけません。

私はこの子の親であると共に、人の子の親であるといふ考へをもつて誰でもの子を愛するようにしたいと思ひます。利害を離れて誰でもを愛するような人にならねばいけません。また子供に甘い母親でありながら一寸氣に入らぬことがあると、子供をたゝいたり、足でけつたりさん〴〵にする母親がありますが、恐ろしいことです。人が人をたゝくといふようなことは、出來るものでありませぬ。(ほんとうの愛の爲にたゝくのは別ですが、)人は「自分が」といふ考へをなるべく減らすことです、自分勝手、我まゝ、自己主義など、自分を中心にする人は、たふとい人でありません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

（六）　誰でもを愛する心

廣いことを海の如しなどいひますが、人の心は海どころか、たとへやうなく深く廣いのです。たとへると大空です。

あさみどりすみわたりたる大空の
　ひろきをおのが心ともかな

畏くも明治大帝はこう仰せられました。肉體の胸は狹いが心は宇宙の廣大なるが如くあらゆる人と物とを愛の眼を以て眺めねばなりません。親を愛し、兄妹を愛し、隣りの人を愛し、村の人を愛し、郡の人を愛する、といふ樣にこの心をズッと推しひろめてゆかねばなりません。自分一人きりしか愛されぬ人は、愛の乏しい人です。自分の一家を愛する人は、其れ丈ひろい愛をもつてゐます。日本中の人を愛し得る人は、大きな愛の持ち主です。世界の人を子の如く、親の如く愛し得る人は、もつと〳〵大きな愛のある人です。

女は男に比べると、たしかに愛が深いと思ふ。是が女の生命です。男に比べてたふとい所以です、友達と仲たがひしたり、嫉妬したり、人を憎んだりする心を皆さん決してはびこらしてはなりませぬ。今や女の愛がだん〳〵小さくなりかけて來ました。女の大墮落と思ひます。處女會は愛の深い人になるやうに磨き合ふたふとい集ひです。

〇七　草

（一）　姿やさしき秋萩すゝき
　　色香なつかし撫子桔梗
　　庭もせにみちておきたる露も
　　野にかゞやくそのうつくしさ

（二）　たがぬぎおきしその藤袴
　　露まで黄色にさく女郎花
　　ひろがる葉かげにさく葛の花
　　かぞへあぐればこれぞ七草

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會の歌「野の幸」の蓄音器

處女會の歌「野の幸」の蓄音器のレコードが出來ました。東京音樂學校 出身 長坂好子先生の吹き込みで、大へんよく立派に出來ました。處女會の開會前に演奏することにすれば至極妙です、京橋新右衛門町東京蓄音 器 商會でこしらへました。價は一枚特別に一圓五十錢でみなさんにお分ち致すさうです。送料は小包料十二錢です。尙片面には、帝國靑年の歌が吹き込んでありますので、靑年會にも使はれます。兩面で一圓五十錢であります。

□處女會の歌『野の幸』

是は今各地方處女會で大流行の高尙な歌で、お茶をつみながらも、草刈りしながらも歌へます。三度刷の非常に立派な本です。

東京市神田區中猿樂町十五
アルス・書店發行
振替東京二四八八八番

一部二十錢送料二錢で、本會でも代理部で。取次ぎます。

「野の幸」の夏の歌

働きをはりて木陰にのめば
あふるゝ泉の冷めたいかなや
働きをはりて川邊に立てば
頰をふく風の凉しいかなや
野を守る處女の我等が幸ぞ
野を守る處女の我等が幸ぞ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女歌劇『月の世界から』

□富士瓦斯保土ケ谷工場處女會春期總會餘興□

文學士　小林愛雄　作

第二場　下界（櫻さく國）

（ところは日本、さくら咲く丘のほとり、此處へ富士紡の女工手等世話係等と共にお花見に來てゐる、一同次の歌をうたふ）

■うた

第六、春の歌

（一）小鳥はうたひ、あつまり來る
たのしきふしに、さへづる小鳥
いざ春の日を、ながめあかさん。

（二）さくらはさかり、あつまる友
うれしき色に香へるさくら、
いざ春の日を眺めあかさん。

□　ことば

第一の女工手、ああ、くたびれました、おなかがペコ／＼になりました。

世話係　大正の新婦人が、そんな弱いことではいけませぬ。

第二の女工手　もう日が暮れさうになりました。

世話係。樂しく暮らしてゐると時間のたつのが早く思はれるものです。

第三の女工手。これで今日もお仕舞かと思ふと、つまらなく賴りないやうに思はれます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

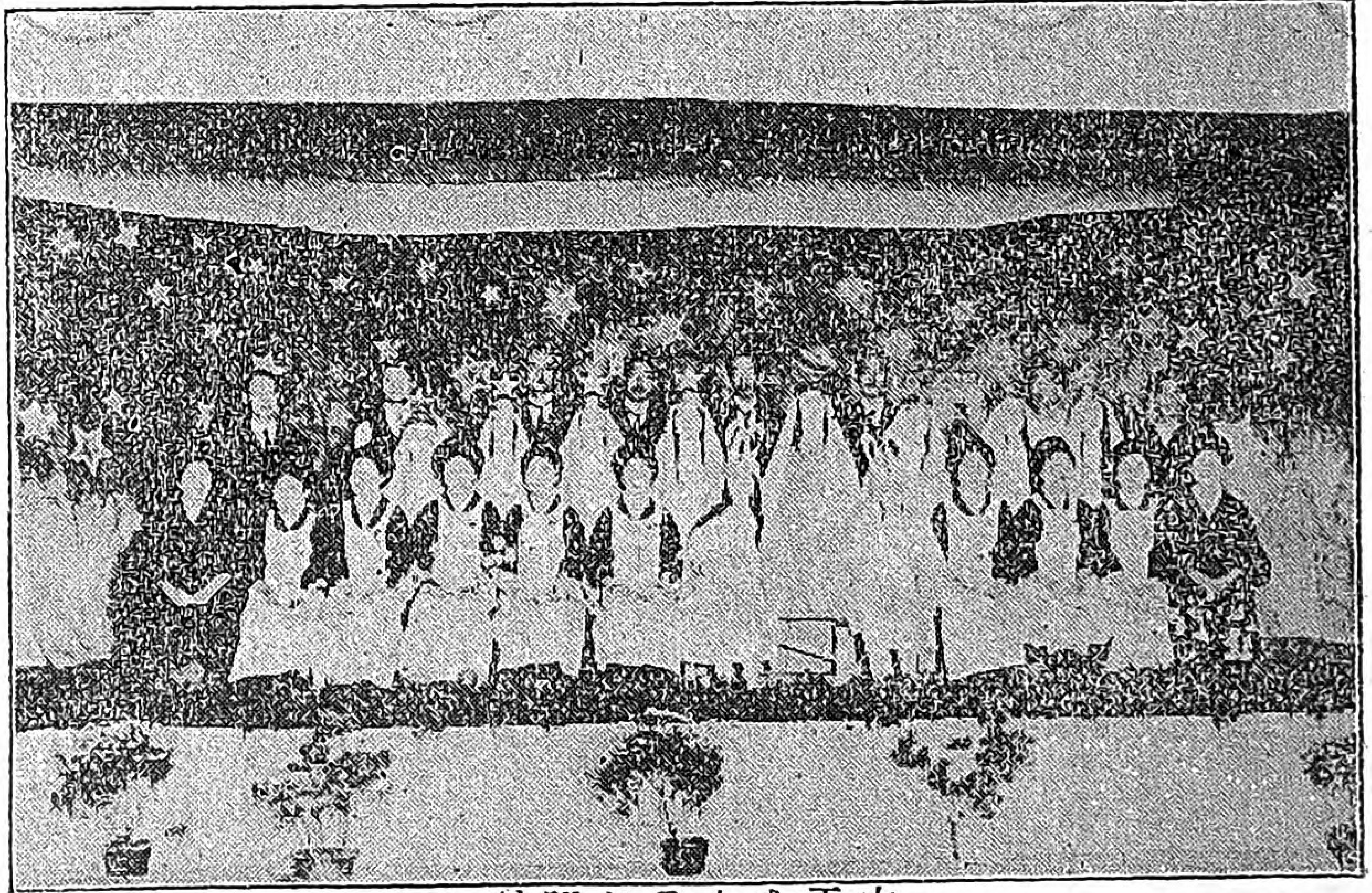
世話係。そこで歡樂の泡立だしいのを見てお釋迦樣も、生者必滅と悟りをひらいたのです。皆さん、今咲いてゐる花も、もう散りますけれども、散るからと云つて徒らに嘆いてはいけませぬ。このさくらが又來年になると、咲くといふことを考へてごらんなさい。

第四の女工手、でも、この櫻の木が枯れることが御座いませう！

世話係。それはありませう。然しその木の子供がまた育つて、花をもつのです。

第五の女工手。それはさうと今日は月の出る晩ですのに、どうして出ないのでせう！

世話係。さあ！



女工さんのお芝居

世話係工女等合唱。

第六の女工手。雲もないのに、何故月が見えないのでせう！

世話係。それは——何か故障が生じたのでせう。

第七の女工手。人間が病氣をしたり、自働車がパンクしたりするやうに、月にも故障が生ずるのでせうか。

世話係。さう——だらうと思ひます。尤も世の中には、理外の理といふ事がありますこの宇宙は不思議にみちてゐます。では、皆さん『春の夕』の歌をうたつて、もう寄宿舍へかへることにしませう。

うた

第七、春の夕

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

(一)せまり來る影は、あたりをこめて、
花さく春も、くれてゆく！
鐘はひびきて、花もちりゆく。

(二)いづこより暗はこの世をつつむ！
花さく春も、今日かぎり、
夢かうつつか、春はくれゆく。

■ことば

第八の女工手。本當にくらくなりました。

第九の女工手。もう眞暗になりました。

第十の女工手。歩けなくなりました。

世話係。どうも困りましたねえ。では星をたよりに歩いてかへりませう。

第一の女工手。あら、向ふから！

第二の女工手。月のやうに光るものが見えます。

第三の女工手。もしや月姫ではないでせうか。

第四の女工手。おお、まぶしいこと。

第五の女工手。まあ、きれいだこと。

(折から月姫上手より登場)

第六の女工手。本當に月姫でございます。

世話係。あなたは月の世界から入らしつたのですか。

月姫。ええ、さうです。私は飛行機にのつて、この下界のお花見に來ました。

第七の女工手。まあ、月のみ國といふのは、どんなに樂しいところでせう！

月姫。それは平和なところです、けれども夢のやうに靜かなところです。そこで戰ひの此の世に下りたくなりました。

世話係。まあ、私達の思ひもよらないことです、人間は誰ひとり、爭ひや戰ひを好むものはありませぬ。誰ひとり。月のみ國をあこがれないことはありませぬ。それだのに下界へ入らつしやるなんて！

第八の女工手。私にしても、もし天國にゐたら、下界へ來るやうなことは致しませぬ。もうお歸りになる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

方がよろしうございませう。

月姫。さくらさく國といふところはどんなにいいとこらだらうと思つて、この世へ來てはみましたが、此處まで來るうちに、日はくれ、花は散り、見るにつけ、きくにつけ、寂しいことばかり、私の心ははじめて本當の悲しみにうたれました。

世話係。それごらんなさいまし、天國はとこしへに春の國ではございませんか。さあ、早く月のみ國へおかへりなさいまし、

第一の女工手。第一あなたがこの世にゐらつしやると、まぶしすぎて、人間の目はみんな充血してしまひます。

(折から、大音(ピアノにて現はす)がして星が一つ落下する。それは黑のふろしき包みに土を入れたを舞臺に出す

『第二のうた』の一節をピアノで、かすかに奏する、月姫はさもかなしさうにその土塊となつた星を見つめる。

沈默。月姫土塊を手にとつて抱き乍らしづかに涙をふく

月姫。おお、私の可愛がつてゐた星がこの世へ落ちたら、こんなにみにくいかたまりとなりました。今きこえた星の歌にまた故郷がなつかしくなりました

■うた

第八。月の曲。

(これは琴唄の螢と同じふしピアノは靜かに伴奏する、月姫は、扇をかざして舞ひつつうたふ)

月姫。(獨唱)

おもへばさびし、ふるさとは、雲をへだてて、かすみつつ、み空もはるかあなたに煙る、おもへば胸のいたむ夜や、みれど、やみ路のさだめなし

■ことば

月姫。私はやはり高いみ空にゐるべきでした。月は月の國に人は人の國に、犬は犬の小屋に、女工手は靜

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

かな寄宿舍にゐるのが自然の生活です。私が自分の分限をかへりみないで、下界へ下らうと思つたのは間違ひでした。

世話係。娘は娘らしく、女は女らしく、月は月らしく、してゐるのが本當の道です。分りましたか、皆さん。

女工手一同。よく分りました。

月姫。私もはからず、處女會の會員にお目にかかつて、月姫らしい月姫となることが出來ましたもう決して迷はずに、自分の居るべきところに居りませうそれでは月のみ國へかへる前に皆さんと一緒に歌をうたひませう

■うた

第九、小夜樂

一同合唱

(一)迷へる世の人よ、
行くべき路をたどれ、
わき目をふるなかれ、
眠れる目をあけよや、
歌はトチチリチン、トチチリチンツン、
さめよトチリチン、トチチリチンツン、
みちは、トチチリチン、
ひとつ、トチリチン、
いざたどれうまずに—

(二)迷はずたどり行け
眞理の眠をばさませ!
されば!世はたのし、
眠れる目をあけよや!
歌は……………(以下同前)

——(幕)——

四五人に月たちかゝる踊かな
男だてより金より心
高い山でものぼれば下る
踊の中に昔なじみの聲がする

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

都にあこがれて（其十一）

白雲生作

品

村から東京見學の命令を受けた大石校長は、東京ステーションにつくとすぐ内務省に參りました。そして地方局に出頭し、社會課長に會つていろ〱社會改良に關するお話をきゝ、書物をも貰つて大變喜んでその足ですぐお茶の水の敎育博物館に參りました。

此處は日本に一つしかない敎育の參考品を陳列してあるところで、時々特別に生活改善や時の展覽會を開いたりしてゐます。館長は棚橋源太郎先生で、處女會の評議員もして居られ、日本一と云はれる位な博物館の通人でございます。

品

大石校長は館内を隈なく見學し、自ら理科の玩具を手にとつて廻してみたりしてゐます。其から館長に會つていろ〱爲になる話を伺ひ、お茶なども御馳走になつて、こんどは本所押上の富士瓦斯紡績を視察致しました。

此處には一千五百人ばかりの女工さんがゐますので大石校長は、女工と地方婦人との關係を調べやうとしたのであります。工場長は佐々山寛一氏、次長は辛

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

島寛太氏、兩氏共に處女會中央部の評議員でございます。

大石校長が名刺を差し出しますと、辛島次長が出て來られて深切に工場の各所を案内して下さいました。廣い工場、高い煙突、今作業中なので、機械の音が勇ましく聞えます。

應接室で校長はいろ〳〵地方の婦人と工場のことを物語りました。

「大抵田舍の娘ですね」

「左樣九割七分までは地方の處女です」

「近頃募集員も大分よくなりましたが、あれはいけませんね、どうしても都會地にたしかな工女の媒介機關が出來なければいけません。中央部がしてくれますと一番よいのです。一方に處女會があるし、一方には、工場との連絡もあるし、將來さうして欲しいものです」

といふのを引きとつて、

「エヽ今さういふ計畫を立てゝ居ります、全くさうですこちらでもその方がいゝです」

「感心な工女もありませうね」

「ありますよ、一人で親弟妹を養つてゐるものもあります、兄の學資を貢いでゐるものもあります、昔の工女とはちがひます、けれども中にはまだいけないのもあります」

「程ケ谷の工場處女會は大變評判になつて居りますね」

「ハヽあれは實に面白いのです、オペラもやるとかいつて居りましたがね、あゝいふ風に工場の中に處女會が出來一方に地方に處女會があり、双方で修養しまするとこの上なしですがね」

汽笛がピーと鳴りますと、休み時間となつて、大勢白い前掛けした女工さんが下を通るのが見えます。

「可愛ゆい娘が居りますね」

「えゝみんなたふとい人の子です、會社では人格を尊重して居りますけれど、中には、渡りの工女がゐましてね、すれてゐて困りますよ、先頃も五人で組を作つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

てあの塀を乘り越へて遁げ出しましてね、其が滑稽です、堀の中へ二人落つこちて、危うく死ぬといふと大袈裟ですが、大變なさわぎでしたよ、すぐそばに交番があります、巡査が夜中に眼をさますと、ぢやぶ〳〵いつてゐるでせう、おどろいて出てみると、女が首つ丈出してぢやぶ〳〵やつてゐるぢやありませんか、ほんとうに困りました。」

「どうして遁げたのですか」

「辛棒が出來ないのですね、つまりあきつぽいのです、遊んでゐて甘いことをしようといふのです。こういふ女はどこへいつても失敗しますよ、一寸使つてゐるとわかります、まじめに働くものはきつとよいのです、生意氣でおしやべりのものはいけませんね。處女會では、「強く優しくまじめに働け」といふ會訓を出したさうですがほんとうにあれでなくてはいけません。」

「なるほど、惡るい女工もゐますね、あとの三人は遁げたのですか」

「遁げてしまひました。寢衣のまゝでね、帶をつないでなか〳〵工風をしたのです、駄目です、もう一度こんなことをすると、どこへいつてもつとまりません。先頃も此處から藝妓になつたものが居ります」

「藝妓に？」

「へゝ、工女なんかいやといつて、向島八百五十圓で藝妓になりました。所が藝が何も出來ませんので、淺草で習ふことになつたのです、どうしても覺えがわるいので、抱へ主は六百圓で福島縣の平へ賣つてしまつたのです、所がみだらなことを強ひられるので、夜中に逃げ出しまして水戸へ來る途中とう〳〵つかまり、また平へ歸つて、今では一千圓近くの借金でどうにもしようがないさうです、父親は人力車夫です」

「なるほどいろ〳〵活きた話ですね「あこがれ心」がわるいのですね、いゝお話の材料をいたゞきました、實は私の村でも先頃家出娘が一人ありましてね、父親からも、東京を搜してくれとたのまれましたが、何んにしてもぼんやりした話でしてねハヽヽ」

辛島さんも貰ひ笑ひしました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

だん〲時間も經つので、工場一覽表などを貰つて大石校長は挨拶を述べて工場を後に致しました。門前に五六人の女工さんが遊んで居りました。大石さんを見てその中の一人は叮嚀にお辭義をしました。

「今お休みですか」

校長はこうきくと、默つてうなづきました。

その中ピー〲と笛が鳴りますと、飛び立つてまた工場の方へ馳け出します。煙突から毒々しいような煙が天に沖してゐます。

大石校長は是からどこへゆくのでせう。

「都に憧れて」淺草に現る

「都に憧れて」三卷が淺草公園富士館に七月五日から十五日まで現れました。大變に好評で毎日大入滿員でございます。淺草は若い娘を誘惑する惡人のゐる所、こゝでこういふフヰルムが寫し出されたことは、喜ぶべき現象です。

驚くべき日本の嫁入費用

嫁入仕度が娘をもつ親の頭を惱ますことは偉大なものです、一人女の子が出來ると「五千圓損をした」と云ふ嘆聲はよく近頃の中流家庭で聞く事柄で、實際五千圓やそこらの仕度金がなければ人並でなくなつたやうです、これではならぬと近頃でもいろんな改善法が講ぜられつゝあるのは當然でせう。

處で各國の樣子はどうでせう一寸ハウスキーピンク誌の調査を拜借すればざつと左の通り

▲年收一萬圓の場合

英吉利	八分
佛蘭西	一割
獨逸	一割
米國	二割
伊太利	四割
西班牙	五割
露國	八割
日本	二十割
支那	三十割

○年收二千圓の場合

英吉利	一割
佛國	一割
獨逸	一割
米國	二割
伊太利	四割
西班牙	五割
露國	八割
日本	二十五割
支那	三十割

以上によつて見ると、日本は英國より高いこと約二十倍で、いかに結婚費に無駄がかゝると云ふ事がわかります、どうしても改善せねばならぬものゝ一つです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

お嫁入を儉約して五十圓の寄附

＝谷口かつゑ子の美談＝

和歌山縣伊都郡大谷村婦女會長

和歌山縣伊都郡大谷村婦女會の幹部に谷口かつゑ子のやうな方の居られるのを非常に嬉しく思ひますので、これから少しかつゑ様の今日に至られた迄のお話をいたしませう。

かつゑ子は幼い時からしつかりして進取の氣象に富んで居た、かつゑ子は小學校を終るにつれて、女學校行を希望なさいました、御内は土地でも中流以上ですし、何一つ不自由のない御家庭ですのに、昔堅氣の父上はどうしてもそれを許しません。併し母上は至つて開けた方で一も二もなく是を承知して、

娘の堅い決心を喜んで

色々と父上にも頼まれましたが駄目でした。そこでかつゑ様はとう〳〵苦學を思ひ立たれ、幸、ミシン裁縫の上手な叔母様があつたので、その方と共に郷里を後に上阪なさいましたそして、私立大谷女學校の專修科(一年)へ入學なさいましたが元より家からは一文の學資も送つて來ません。叔母様に教はりつゝ早朝及放課後に一生懸命ミシン臺に向はれたさうですが、何と言つても十五や六の小娘、自活して行くには隨分つら

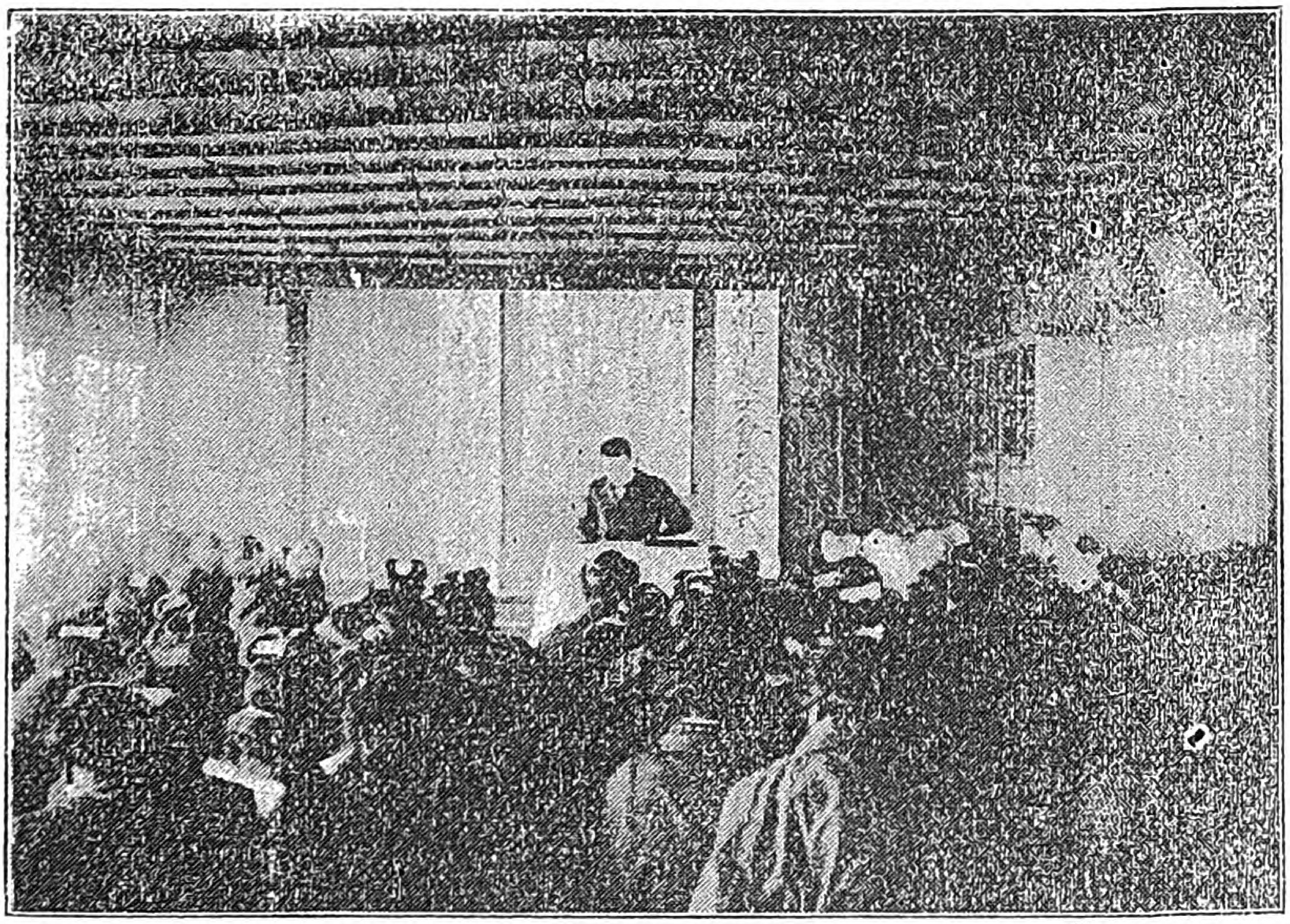
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

い事もあつたさうです。登校の際仕上げし品を屆け下校の道すがら材料をもらつて歸るなど、往復ともあの賑やかな大阪市中を

大風呂敷を脊負つて

お通ひなすつたとか、海老茶袴の女學生が大風呂敷を脊負つて歩く事とて、餘りに人目を引いた故、終には袴を風呂敷に包んで、往復とも持つて歩いたなど丶申されました。

　朝早くより夜遲く迄仕事をせらる丶事とて、勉强の暇とてはなく、尙晝は眠氣がさす、あ丶普通の者なればこんな時心がにぶりませう。然しそんな弱いかつゐ子ではありませんでした。苦しみある毎に己を勵まし苦しい中にも樂しみを持つて通學して居られました、その中先生の御世話である良家へ見習奉公にいらつしやる事になり、そこから學校へ通つていられました。如何に親切な御主人とは言へ何を言ふても務めの身、隨分つらい事もあつたでせうけれど、朝夕の務めを果



福島縣安達郡針道村處女會發會式

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

して晝は登校して居られました、苦しいしかも希望にみち〳〵た月日が過ぎて無事卒業證書を手にせられた時の嬉しさ、滿足さはどんなでしたでせう。到底他の者の想像も及ばぬ程でしただらうと思ひます。

其後も又先生のお世話で、池原樣(元大阪市助役)へ見習奉公に出られ、一意專心修養に務められました。二ヶ年余りの後御家の都合で歸鄕せられ

養蠶よ田植よと

隨分よく、お働きになりました。その間も少しも修養を怠らず我が大谷村に婦女會の設立せらるゝや（以前からありましたが、余り盛でもありませんでしたので改革いたしました）非常の熱心をもつて御世話下さいました、その一例として大正八年八月橋本高女に於て天野先生御講話の下に開かれし處女會幹部講習會にもお忙しい中を無理して、御出席して下さいました。普通に忙しいと申しても、色々ございますけれど、時恰も養蠶の眞最中で、ほんとに退引ならぬ時だつたのです。御兩親にお願ひしても御許しがないので云はば内密に拔けるやうにして一日を婦女會の爲に費されました。この一例を以てもほゞわかる通り、かつゐ子程「眞に眞心をもつて會の爲につくして下すつた方は、珍らしいと思ひます。

お蔭で婦女會も餘程發達し喜んで居ました折柄惜しくも我婦女會から奪れてしまひました、それは谷口樣に取つてはお目出度い事で同郡笠田村の岸田虎一氏と

御結婚遊したのです

御結婚後直ちに渡鮮せられ（御主人は以前から渡鮮してゐられました）只今の所、こよなき幸な日を送つてゐると、御便り下さる毎に喜の色が文面に溢れて居ます。

かうした異鄕の空で御主人は勿論、見ず知らずの他人にこの上もなく、愛せられていらつしやるといふのも皆々かつゑ樣の日頃の修養に外ならぬと思ひます。特にこの御結婚について、皆々樣にお知らせいたしした

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

い美談がございます。それは誰しもがよい事と知りつゝ到底凡人の實行し得ない事なんです。それは外でもない近頃結婚式なんかの華美に傾き、虚禮に流れるのを大變嘆かれ、親にねだつて一枚の着物でも多くと思ふのが普通ですのに、自分から進んで儉約々々と主張され結婚當日も一里以上もある、田舍道を歩いて行かれました大方の人は今日を晴と着飾つて車に乘らない方なんかは恐らくないのに、それに歩いていらつしやりその上通例になつて居る三日歸りも廢せられました。そしてそれに費すべき

尊いお金五十圓

大谷村婦女會の爲に寄附して下さいました。

あゝこの御志に接した時、みんなは何と感じたでせう、唯々痛み入つてその清いお心根に感服せずには居られませんでした。

口で言へば何でもない樣なものゝ、果して是が實行し得らるゝでせうか、自分の車賃をさいて會の爲に寄附するとは、これに刺戟されて大谷村の婦女も大分目覺めて參りました。他村の婦人會、處女會などは多く小學校長が會長をして居られますが、本村では縣下の素封家二代草田源兵衛氏の未亡人が會長で、村内の爲に一身をさゝげて下すつた、恩地文質樣の未亡人が副會長に、おなり下さいまして日に日に發展して參ります。

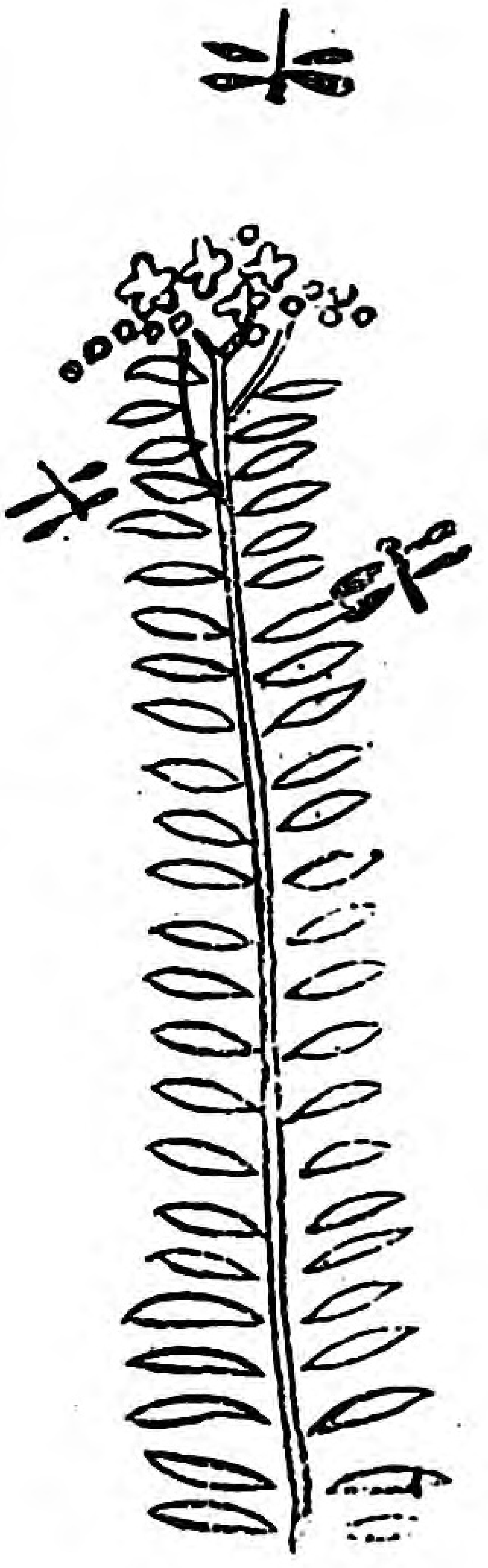
誌友より

(前略)倔強な男子が優しき女の雜誌處女の友を愛讀するは、誠に異なことの樣に見えますが、是には譯のあることで、私は今青年團の幹事を勤めて居りますが、どうして將來兩者は相提携してゆかねばならぬと感じます。偶帝國青年誌上で天野先生の處女會の記事を拜見して、非常に感じ、遂に處女會の設立を計畫致しました。是から努力して斯の道の爲に盡くしますからどうぞ御指敎を仰ぎます。(山梨縣三枝一保)

記者より

方々から熱心家の御たよりを下さることは、非常に心强いのです、東齋子さま、對比地こう子樣、二階堂樣いろ〳〵御たよりやら、ゑはがきやらありがたうございます。一層本誌の爲にお盡くし被下いませ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



小説

友情

深緑

□

三時間目の始業の鐘が校内に響きました。

「左右、左右」と先生の聲につれて、可愛らしい足ぶみの音が一しきり――やがて多勢の生徒等は、教室に入つてしまひました、六年の受持の先生は、作文帳を重たさうに抱へて教壇に上られました。

先生は禮がすみますと、作文帳の表を手で撫で乍ら一わたり生徒を見渡して、

「皆さん此間のはあまり上手には出來てゐませんでしたが、一つ大變よく出來たのがありますから讀んで見ませう」

と、一番上にある一冊を手に取られました。

「誰のでせう、杉本さんのか知ら」

美風善俗

青年男女俚歌五十題

○報　本

みくにだいじと、こゝろにかけて、
つとめ、はげめよ、きみのため、

○敬　神

ひとにあうても、おじぎをするに、
ましてかみへは、なほのこと、

○祭　祀

うけてたはれ、そまつなものも、
あかきこゝろを、たてまつる、

○祖　先

せんぞだいじに、おもはぬひとは、
ひとのつらして、ひとでなし、

○父　母

ちちとははとに、つかへるならば、
つねにゑがほをわするゝな、

○兄　弟

ゆづりあひする、けうだいなかは、
ひとがじやまする、すきまない、

○夫　婦

ふうふなかよく、くらせばいつも、
いへにはるかぜ、ふきわたる、

○朋　友

こころしりあふ、よきともだちは、
またとえられぬ、たからもの、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

「なあに高野さんのよ」

「太田さんよ、きつと」

さまぐ\の囁きが室の隅々に聞える。

「そんな事を氣にしてはいけません、靜かに聞いて居らつしい」

と制して平常の美しい聲で讀み始められました。

「世の中に愉快な事はたくさんあるが、人の喜ぶ顔を見る程愉快な事はない、家では老いたるお母樣の嬉しさうな顔を見た時、學校では先生から賞められ、友達も賞められて互に仲よくする時が一番愉快であります。老いたるお母樣は私が少しでもよい事をすると大變よろこんで下さります。學校の成績がよい時はお父樣のお佛壇を拜したりして涙ながらよろこんで下さいます。遠足でもある時は私の歸るのを今か今かと待ちあぐんで、元氣よく歸る私の姿を見ては嬉しくて堪まらぬやうな顔をなさいます。

それゆゑ私はこの大好きなお母樣に少しでも多く喜んで頂かうと思つて遠足の時など、とりわけ元氣よく我家にかけて歸ります、そうしてお母樣によろこんで頂く時が何より愉快でなりません。

私はこれからも一心に勉強してお母樣をよろこばせ、よいと思ふ事はどんな事でも厭はずして多くの人に好かれて愉快な日を送らう

○交際

なかがよいとて、れいぎはすてな、
つきあひけんくわの、はながさく、

○恭謙

さがるほどよき、あのふぢのはな、
みあげられるよ、ひとびとに、

○博愛

よわいものをば、たすけてさらせ、
うしうまつかふも、こころして、

○誠意

ちゑがありても、まことがなけりや、
かみやほとけは、うけはせぬ、

○良心

みがきあげたろ、かゞみでさへも、
さうじおこたりや、くもりさす、

○同情

ひとのあはれを、わがみにうけて、
つくすひとこそ、まにんげん、

○公徳

のべのはなでも、みだりにをるな、
ひとのめいわく、おもひやれ、

○私徳

いやなことをば、ひとにはむけな、
わるいたねまきや、みにかへろ、

○善徳

よきもあしきも、みなこゝろから、
こゝろひとつに、みちふたつ、

○教育

せんりようばことより、をしへがだいじ、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

と思ひます。」

先生がこうよみ了へますと、高野靖代は眞赤になつて下を向いてしまひました。

「皆さんどう思ひます、題がむづかしかつた故かこれ程立派に書けた作文はありませんでしたこの方は何といふ美しい心でせう」

先生の語に感じて今の文章を思ひ出して居る生徒や、妬ましい様子で先生の顔を恨めしさうに見て居る生徒など、子供ながら四十餘人の心はまち／＼の心でありました、やがて級長から渡された作文帳を開いて

「また乙よ、つまらないわ」

「私も乙、いゝやね高野さん甲上よ」

「いゝわねえ」

「さ、となりの人と思ひ思ひな事を囁き合つて居りました。

□

せまい田舎道を、二人の少女が學校から歸ります、片手は風呂敷包を、片手は互に握り合つて親しげに語り乍ら、一人は杉本繁野――色の白い丸顔の可愛らしい品の好い子で今一人は高野靖代――眉の濃い濕みに持つた眼に氣高い氣風を示して何となく賢さうな顔で

にはのなでしこ、きをつけよ、

○修學

ひまがあるなら、よみかきならへ、
ちゑはみがけば、ひかりでる、

○習業

わかいときから、しごとをおぼゑ、
くにのたからと、なるやうに、

○常識

ときとばあひと、ことがらみわけ、
ぜひのはんだん、するがよい、

○共同

こゝろあはして、かゝればよいに、
かつてりくつで、ともだふれ、

○公民

やがてわれらも、こうみんしかく、
うでのちからを、ためしみむ、

○法規

おきてまもるは、われらのぎむよ、
ひとのいひつけ、なりとても、

○公權

せんきよするのは、われらのけんり、
かねでこゝろは、まげはせぬ、

○租稅

かるいおもいの、くべつはあれど
ぜいきんはかるは、たみのぎむ、

○兵役

わしがゆかねば、をとこがたゝぬ、
だいじのやくめぢや、きむぎやもの

○義勇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あります。
「靖代さんほんとに今日の作文はよく出來ましたのネ私も嬉しかつたわ、全くお上手ネ」
「繁野さんこそお上手よ私のなんか駄目よ」
と眞心から賞める繁野の語を打ち消して
「いゝえ、靖代さん貴女のは眞實に貴女の心が現はれてるのよ」
「繁野さん私ほんとに皆と仲よくし度いのよ」
「ほんとにねえ、私もよだけど私威張る人があると憎らしくなるのよ、やつぱり、貴女より私の方が我儘ね、でも私可憐さうな人のためにはどんな事でもし度いと思ふわ」
「さうね、えそれが好いわ、可憐さうな人はどん／＼助けるが好いわ、でも私なんかいくら思つても出來ないの」
貧しい我家の事を思ひ出しては涙ぐんだ靖代を見て繁野は慰め顔に
「靖代さん貴女はお母様を大事にするがいゝわ、私はそれより善い事はないと思つてよ、今日の作文のやうにねえ」
「えゝ先生もそんな評を書いて下すつたの」
睦まじく話しながら歸る二人は、級中で一ばん仲もよく又成績よ

みくにまもろは、われらのつとめ、
　まさかのさきは、いのちまで、

○奮　發

びんぼふしたさて、くやむはばかよ、
　かれははたらく、みにはつく、

○勇　往

みちはさほくて、やまさかあれご、
　たゆますすゝめよ、ひさすぢに、

○衛　生

いへのうちこそさ、さうぢをよくし、
　わるいやまいの、つかぬやう、

○健　康

なんさいうても、からだかたれよ、
　はだかひやくくわん、むこにさろ、

○元　氣

いろがくろうて、すぢぼれふさく、
　はきはきはたらく、げんきよき、

○勸　勉

つさめだいじに、はたらくひさは、
　やがてこがれの、はながさく、

○勞　働

のべにはたらく、おひやくしやうさんは、
　あそぶしんしの、うへにたつ、

○貯　蓄

そのひおくりに、くらしをせずに、
　もうけいちわり、つむがよいい、

○自　營

いやしいわざさて、けいべつするな、
　ひさにやつかい、かけはせぬ、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

く模範の生徒で御座います。

「繁野さん――杉本さん」、

突然後から大きな聲が聞えましたので、二人が振り返つて見ますと學校で一番勢力のある河村高子が眞先になつて大勢で走つて參ります

「なあに高子さん」

繁野が立止つて優しい顔を高子に向けた時高子は繁野の側に進んで繁野の手をとつて、

「繁野さんいつしよに歸りませうよ」

温順しい繁野はとられた手を離しもせずに

「えゝ」

と高子のする通りにして、片手はそれでも靖代から離しませんでした。一同は繁野と並んで行く靖代を憎らしさうに見て居ましたが高子は皮肉らしく、

「お二人でいゝわ」

「…………」

「繁野さんは靖代さんと仲がいゝのね」

「えゝ、それがどうして？」

高子の語に初めて繁野が答へました。高子は舌をペロリと出して

○結　婚
女房ほしけりや、をさこをみがけ、
　いくぢなしには、たれがゆく、

○貞　節
かひこかひつゝ、かんびやうすれば、
　はやもさなりの、さりがなく、

○集　會
じかんはづれて、あつまろものは、
　ひさのめいわく、しらぬやつ、

○寡　飮
さけくみかはすも、たゞさきさばしよ、
　ひさのさまたげ、せぬやうに、

○懦　弱
ていさいかざりて、いくぢがなうて、
　おつなかほする、なまけもの、

○放　逸
むだのよあそび、からだをこはし、
　のらのほんしやう、あされする、

○貪　慾
たはたさかを、きりさろひさは、
　ごくらくじやうごの、みちがない、

○虚　榮
みえがよいさて、おまへはいやよ、
　わたしやハイカラ、おほきらひ、

○浪　費
むだにぜにがれ、つひやすひさは、
　さもにしよたいを、もたれやせぬ、

○飮　酒
さけをのむなら、へその下へおのみ、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

苦笑ひをしながら
「誰かさんはいつも甲上よ……」
「わたしたちはいつもだめ〳〵」
と憎まれ口を利きながら高子は無理に繁野の手を引張つて一同に目くばせをしますと、一度にどつと馳け出しました繁野は吃驚して、
「イヤヨ高子さん、靖代さんがアレ靖代さんが」
とやつとの事で一人殘されて驚く靖代の所へ引返して來ました、一同は口々に罵りながら歸りました。

（つゞく）

松崎ひろの孃の入社

處女會中央部及「處女の友の」爲に今度松崎ひろの樣が御つくし下さることになりました。松崎樣は水戸の女學校を卒業なされ、文學にもしたしまれた方で、田園生活の趣味を解せられ「處女の友」にも深い同情と敬意を持つて居られましたので、こんど特に御願ひ致したのでございます、今まで本誌には畠山敬子三村君子樣がとき〳〵御手傳ひ下さつたのですが、こんどは專任の松崎樣が來られましたので、本誌は仕合せでございます。皆樣の姉樣として、何でも御相談して下い。

のまれてくだまく、ひさはいや、

○賭博

ばくちしやんすな、つまこをなかし、
ぬしにつくもの、みつはかり、

誌友より

○青葉の影したはしき頃となりました、記者樣御變りはございませんか私は田舍の處女でございます、どうぞよろしく（愛知縣北設樂郡三輪村北川ちよう子）

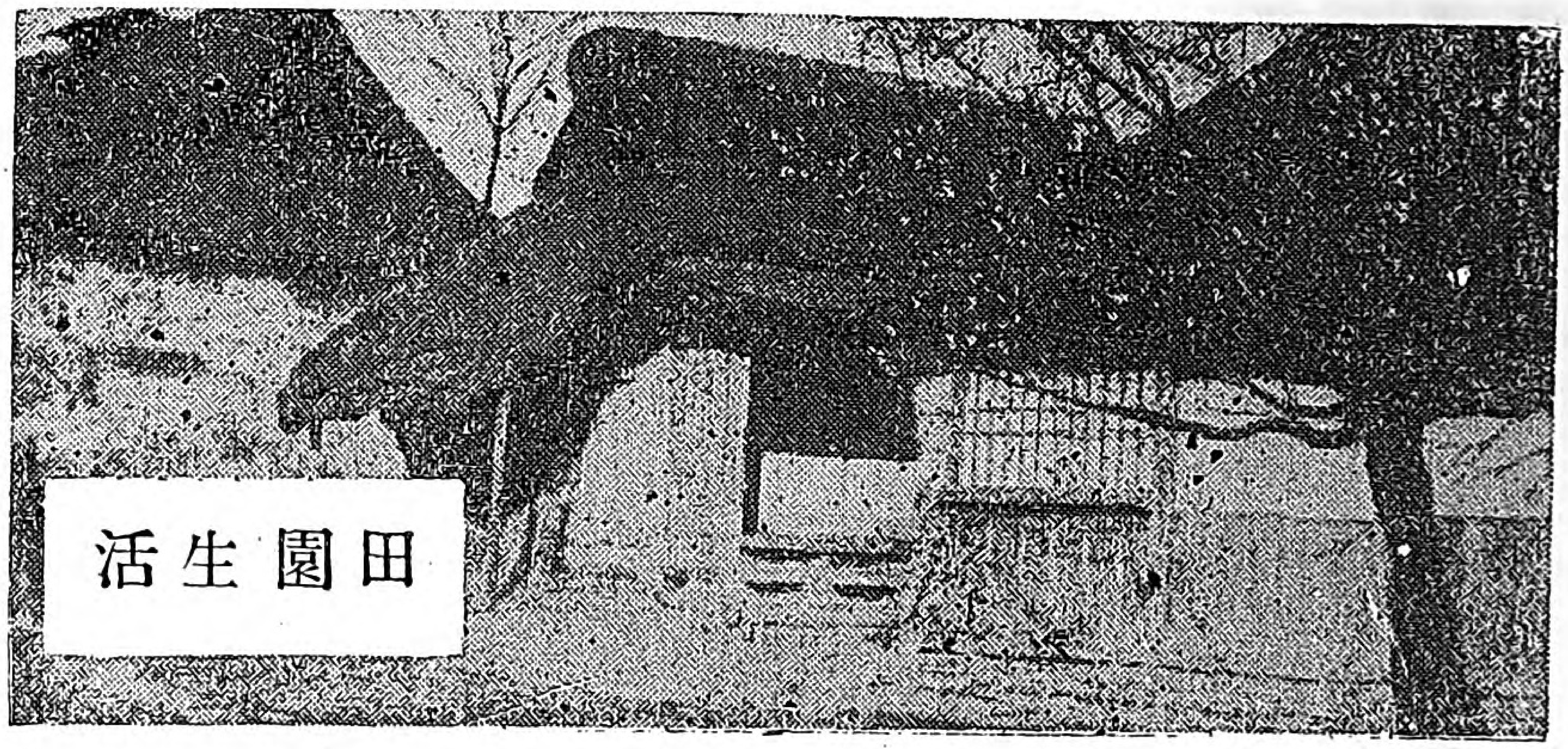
○久しく農繁のために御無沙汰致しました、誌上の姉上樣及先生樣には何のお變りもございませんが、時節柄御大切に（四國の月見草）

○誌友くらぶなか〳〵賑やかになりました、「都に憧れて」は貴地でなければ見せていたゞけないものとあきらめて居りましたのに大阪毎日新聞のおかげに片田舍にいながら見せていたゞきました。お房さんに皆同情いたしました。涙を流さぬものは一人もありませんでした。けれどおさき君んもお房さんも元々通り家に御歸りなされて何よりでございました。（島根縣西伯郡春日村小原しげ子）

○私は伊那の蠶地に働く乙女でございます、誌友の皆樣早春蠶も樂しく御飼上のことゝ存じます。私は御誌のたつとき敎訓を心に沁みこめて強く優しくまじめに働ひて居ります。皆樣どうぞよろしく（伊那山本増澤りみつほ）

○梅雨のしめつぽい風もまだ逃げやらず、蒸し暑い今日此頃先生樣如何お暮らし遊ばされますか、私は靜かな廣い公園に鵠島と共にたのしく暮らして居ります。學校三年卒業致しましてからお優しい處女の「友子」さんを唯一のお友達として居ります。浮世の荒波に同はんとする私たちどうぞよろしく御導きを（島根濱村秀野）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



螢について

山梨縣　石　政子

木々の若葉はみどり滴るばかりに茂り、そよ吹く風心地よき時節となりました。

夕方より水田には蛙の群、聲を揃へて鳴く音賑やかに、螢は青黄色な光を出して暗夜に飛び、川邊の青草にとまり、又水に浮かびて流るゝ樣など見事にて、これからの田舍は涼しい夏景色を味はひます。

本縣にては當村の螢が昔より有名にて甲府近傍の學生や其他多人數にて螢觀に參りますので、しばらくは大層賑はひます。

觀るだけでなく中には捕へて行く人もありますので一時は少くなりましたがはる〴〵觀に來る人を喜こばせるにはこれを繁殖せねばならぬとて村の青年は晝は農業して疲れますが、夜はこの保護に苦心致しましたので近年又澤山になりました。以前はこの螢は只光るのみを賞觀してゐましたが數年前より宮島醫學博士、其他の諸先生の御研究により人體に入る恐るべき住血吸蟲病となる住血吸蟲といふ蟲を螢の幼蟲が喰べるといふ事を御發見なさいましたので益蟲として捕る事を禁じられる樣になりました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

此の住血吸蟲といふ蟲は淡水即ち田や川の水の中に住む小さな貝（宮入貝）の中に成長し次いで增殖します、此の蟲は一種の細い、ヂストマで田植時など人間の皮膚を破つて血管の中に入り生活します、此の蟲が人體に入ると種々の害を作して肝臟は膨脹し一層甚しくなりますと腹部に水が溜り靑筋脹り體は瘦せ衰へ活動に堪へられなくなりますので此の地では住血吸蟲病を地方病といつて大層恐れてゐます。

皮膚から入りますが呑んだのでは病氣になりません。そして井戸水には病蟲がゐません。これから一日增しに暑くなりますと子供が川で水泳を致しますが嚴しく叱つて止めます。豫防としては、宮入貝を取り蟲を繁殖さするに限ります。

義理ある家で

或る片田舍の乙女より

記者樣方何の御異狀もございませんか、月日の重なると共に御社益々御隆盛の御事と存じ愛讀者の一人たる私も欣喜に堪へざる次第であります。私は淋しい片田舍に寂しい歲月を送迎して居ます乙女でございます。拾五歲の春（當年十八歲）好きな學校も境遇上餘義なく退かせられ農事を手傳はねばならぬ身の上となりました。そして每日家事の餘暇には雜誌などを讀むのが無上の樂しみでございました、然し今日まで讀むだ雜誌の中でも御社發行の「處女の友」程切實に身に感じた事はありません、義理ある

入社の辭に代へて

松崎ひろの

自然の母の御手になりたるさま〴〵の、眼に觸るゝもの、眞あり、僞あり、善あり、惡あり、美あり、醜ある宇宙の千狀萬態の事象が、凝と瞳を開いた私の前に現れます。其中には人の眼にふれずして貴い〳〵美しいものが秘んで居る事にも、心付きました。

砂礫にまじれる玉、
谷間にかくれたる白百合、

それらの眼に見えぬ貴い物をさぐりさぐりて尋ねるは人さして、最も意義ある貴い事であらうかと存じます。

私は田舍に生れ、田舍に育ちましたので田舍に親しみの多い者で御座います。此度「處女之友」編輯の任を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

家庭に生れた私は何事も意のまゝにはならず現實を呪ひ現世を浮世など、悲觀して居りましたのですが一寸した事から處女の友を拜見して果してどんな感じを心に刻んだ事でございませう。

私は今迄自分の心の持ち方で自分自らを悲しいものにして了つて居たのに氣付きましたのです、其後私といふものはまるで別人のやうに「強くやさしく眞面目に働く」この語を始終心の中で繰り返してよき心の鞭として樂しく野に働く幸福な乙女となりました、これもひとへに御社のおかげと感謝致します。

おうけ致しましたに就て、才淺き自らの乏しき心をふり返り、小さき私には過分の責と思ふては、戰きながらも、非常な期待と興味を以て、皆樣に接せんとする者で御座います。さうして都會と田舍に就て、熟々考へ度いと思ひます。

修業の地、事業の地としての都會の華やかさも、長閑さ、幽趣ある田舍の心安さに比べて其の優劣、自分の置かれた境遇より其場所に就て深く考へなければならぬと切に感じました。

都會は美しい花で御座いませう。田舍はその花を咲かすべき質實なる根で御座いませう。根を堪念に培はずして、どうして美しい花を咲かする事が出來ませう。

玉清水流るゝ里川のほとり、或は茂れる森かげに眞面目に働く皆樣の心の平和を思つて、都の一隅より、其等の美しい詩のやうな、皆樣の御生涯の幸福を、眞心から祈る者で御座います。

記者より

「喜ぶ者と共に喜べ――悲しむ者と共に悲しめ」といふ昔の聖人の言葉を繰り返し思ひつゞけて居ます矢先に、おたよりを拜見いたしました、義理ある家庭と仰有る上は定めし量り知られぬ氣兼、氣苦勞に涙の月日をお暮しなさいましたでせうとお察し申します。其の中に充分辛棒して心一つの持ちやうと諦めて心機一轉――強くやさしく眞面目に働く女となられる迄の御修養に敬意を表し、此の後も一すぢに心の平和を持ち續けて幸福に一生お過しになるやうに望みます。

をり〳〵は濁るも水の習ひぞと
思ひ流して月は澄むらむ

生涯の間には誰しも自然の神より苦い辛い懲らしめを受けるやうに運命づけられて居ます。それらは皆私

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

共を大きくしやうとて情ある神の給はる試金石であり、慈悲の鞭撻でありませう。お互ひにもつと〳〵苦しんで眞實の涙の川を渡つて歡樂の里に達しなければならぬと思ひます。(ひろの)

故里の人にもすゝめませう

保土ヶ谷工場寄宿舍　松尾リサ

記者樣、私は保土ヶ谷工場に三年近く居りますから何につけても國元の母を思ひ心ぼそく思ひます、私も學問が好きですが父には西も東も知らない時に別れましたので學校ははづかしい位しか行きませんが會社のおかげで學問を敎へて頂いて居ます、又會社では生花、禮法等を敎へる先生が居て下さいます、私ももと〳〵學問がすきですから講義錄などの本を見ました。又此頃は同情深い處女の友が每月參りますので樂しく働いて居ります。

私は工場に行つて大勢の人と一しよに働いて居ても處女の友の事を思ひ故里の人にもすゝめやうと思ひます、そして强く優しくまじめに働く女になりたいと思ひます。

記者より

かうした眞面目なお方に讀んで頂くのが處女の友としては最うれしい事に思ひます。幼い時死別れられたお父樣を思ひお母樣とも別れて每日工場で働いてお出になる貴女は何といふお氣の毒な方でせう――

然し人の不運と云ふものは何時迄も續くものではありません、今の心細い、苦しい朝夕を我慢して働いてお出になれば必ず幸福な身上となられませう。亡くなられたお父樣の魂は必然貴女の行末を護つて下さいますでせう。あく迄も努力して眞面目にして幸福になる時をお待ちなさいませ。(ひろの)

母さまの御馳走

滋賀縣蒲生郡　中川とら

前から一度お手紙をと水田の中や畠で働く日もゆつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

くり筆をとる今日の休み日(村休)をどれほど待ちあこがれた事でせう、朝から今まで草刈をして居りましたいつになく氣もすが／＼と長いうねの二三行は何も知らずにすませました。丁度今四すぢ目を終りスーと一息清々しい青葉の風を吸ひ乍ら眞向ふの松林をうつとり眺め入つて居りました。折しもゴーンと村の日暮の靜けき空に風を切つて響き渡りました。あゝうれしい／＼と思はず叫びました。歸る道すがら全く無心に家路にと急ぎました。そして母さんの丹精の御馳走もそこ／＼に北風吹く窓に向つて筆をとりました。どんなにむさい仕事も、暑い太陽の反射を受け乍らも何となく心樂しく夕食後書物を見るのを樂しみに暮して居ます。

○フヰルム便り

(一)「都に憧れて」が淺草に現る

天野理事作「都に憧れて」が淺草公園の富士館に七月五日から十五日迄興行されました富士館は淺草では第一流の大寫眞館でありますがこの教育的フヰルムが大喝采、連日滿員、女敎師や女學生もなか／＼多く立派な人も見えました天野氏は、此な機會に各方面の名士に案內狀を出しまして批評を乞ひましたが、何れも大滿足、新聞紙もみな推稱しました。

(二) 松本市開明座の盛況

天野理事は細川風谷氏と共に信州松本市に參られ、七月七日晝夜二回開明座で興行されましたが、晝夜共に二千人の入場者があり入り切れなくて表で泣き叫ぶ婦人子供もあり大喝采でした。天野氏も一場の講演をせられました、其から豐科町、穗高町、大町と三ヶ所で映寫し何れも大喝采を博しました。

天野氏は一旦歸京して福島縣相馬郡の處女會巡廻に參られました細川氏は七月十三、十四兩日甲府で映寫して十四日に歸りました。

このフヰルムは天野氏が御自分の所有物ですから是から方々へいつてうつして皆さんにお目にかけるさうです。東京でも近來の大傑作といふ評判であります。(くわしくは來月號に)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

地方處女會通信

○處女會の民力涵養

岐阜縣坂ノ東村處女會副會長　島田　敬三

何れの處女會でも、去年床次内務大臣の發せられた、民力涵養の五ヶ條の趣旨に基き、それ／＼細目を定められて、その實行につとめてをらるゝといふことは、申すまでもないことでありますが、私の會で次のやうな細目をきめて極力その實行につとめてをります、

第一、立國の大義を闡明し、國體の精華を發揚して、健全なる國家觀念を養成すること、

イ、一月一日、紀元節、天長節祝日には必ず學校の拜賀式に參列致します。
ロ、祝祭日等には必ず國旗を立てます
ハ、毎朝必ず神樣や佛樣をおがみます
ニ、神樣や佛樣の前を通る時は禮拜します
ホ、祝祭日などを見斗つて修養會を開きます

第二、立憲の思想を明徴にし、自治の觀念を陶冶して、公共心を涵養し、犧牲の精神を旺盛ならしむること

イ、納税は期日までに必ずお出しなさい、
ロ、自分の村、自分の學校の事を忘れてはなりません
ハ、憲法發布の御趣意や、地方制度を知ることにつとめねばなりません
ニ、手前勝手なことばかり言はずに、お互に仲よくして、この會の發達をはからねばなりません、
ホ、出稼をするものは、つとめて家庭や友人に、安否を報告せねばなりません、

第三、世界の大勢に順應して、鋭意日新の修養を積ましむること

イ、いろ／＼の講習會にはつとめて出席せねばなりません、
ロ、新聞や雜誌又は會報などは、すみからすみまで、よくよみなさい、
ハ、自分にやられればならぬ仕事は、どこまでも骨を折つてやりとほさねばなりません、
ニ、むだな事に時間をつぶしませぬ、
ホ、修養を基としたる、短期講習會を開きます、

第四、相互諧和して、彼此共濟の實を擧げ、以て輕進妄作の慽なからしむ、

イ、會員中にお目出度こと、又は不幸なことがあつたりした時には、お互に喜びあつたり、慰めあつたりします
ロ、貧困兒童救濟につとめます
ハ、軍人遺族の援護は勿論不幸なものを助けます

第五、勤儉の善風を作興し、生産の資金を增殖して、生活の安定を期せしむるやうつとめます

イ、家族の圓滿を、はかります
ロ、お百姓にせい出します
ハ、お互に衞生に氣をつけて、病氣にかゝらぬやうにします
ニ、冠婚葬祭などの場合には、つとめて質素を旨とし、むだな錢を費さぬやうにします
ホ、臺所の改良をはかる樣にします
ヘ、規約貯金を怠らぬやうにします
ト、子弟をして貯金せしむるやうにきをつけます
チ、派手な衣服は用ひませぬ
リ、遠足旅行もいたします
ヌ、早起きの習慣をつけます
ル、簡易生命保險に加入いたします
ヲ、手藝品評會を開きます
ワ、養蠶講習會を開きます
カ、一年中の收支計算を明かにします
ヨ、時間の勵行をはかります

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

上保原處女幹部（下の記事をごらんなさい）

向つて右より四人目が金時計を贈られた奥村仙次郎、

○前處女會長に金時計を贈る

我が村の（福島縣伊達郡上保原村）處女會は大正六年の春校長奥村仙次郎氏の首唱にかゝるので創立以來三年異數の發展を來たしたことは深く感謝するところです然るに今回他に榮轉せられることになりました爲め會員は深く氏の去るのを惜しみ且つ功勞に酬ゆるために金側時計を贈つて感謝の意を表しました。

感謝狀

一、金側懷中時計　壹個

明治四十二年當村小學校長に就任セラル、ヤ爾來十有二年、幾多子弟ノ薫陶ニ寧日ナク職務多忙ノ身ニモカカハラズ吾ガ青年會ノ會長トシテ熱誠會員ノ指導及ビ會員ノ整理ニ努力セラレ盡力ノ結果本會ガ縣下ノ優良青年會タルニ至レル又率先處女會ヲ組織シ會長トシテヨク女子ノ補育教育ニ意ヲ致サレソノ他會報ノ發行品評會ノ開催、高齡者ノ慰安、聯合運動會等何レモ先生ノ發案唱導ニアラザルナク本村今日ノ發展ヲ見ルニ至リシモノ實ニ先生ノ賜ニテ其功績赫々タリ今ヤ此ノ地ヲ去ラル、誠ニ遺憾トスル所ナリ

茲ニ氏ノ恩ニ酬エン爲タ前記記念品ヲ贈呈シテ聊カ謝意ヲ表ス

大正九年四月

上保原青年會
上保原處女會

元上保原青年會長
元上保原處女會長　奥村仙次郎殿

なほ同氏は村よりは村會の決議に基き金百圓の賞與消防組軍人分會よりは顧問として功勞ありしため金盃壹個其他村内各團體より無數の記念品を贈呈したる等本村未曾有の盛會なりき

○きめたこと

岐阜縣武儀郡上𠩤生村正女會葛屋處女部理事

林　チヨ

加納　たじ

私の組には青年會も戸主會も以前からござゐました、ここに戸主會は成績見るべきものがあると言ふので此春知事樣から表彰を受けました位であるのに婦人の會が一つもないので殘念に思つて居ました處、組の有力者のお方や學校の先生のお骨折りでこの春正女會と言ふ名の下に主婦會と處女會とが出來ました、主婦會の方に主婦として、修養を積んで家庭の改善を計ると共に學校と連絡して家庭教育の向上を計り處女會の方は智德技藝を研いて良妻賢母となるの素質を養ふのが目的でありますす今私の支部できめた事を申上げて見

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ます
一、區内で名譽會員を推選して色々の指導や御世話をしていたゞきます
二、處女の友を購讀して修養します（現在會員二十一名ですから三人仲間位の豫定で七册購讀してゐます）
三、朝早く起き仕事に精出して出來るだけ儉約をして一年六十錢以上の規約貯金をします
四、お嫁入りをする方には記念品として鏡をお送り又不幸な方があつた時には弔慰します記念品は一圓以下弔慰金は五十錢以下でその經費は有力者の方に作つていたゞく基本金の利子と會員から出す會費とで充てる筈であります
五、休日にはお寺樣で修養會を開いて禮儀作法料理などの稽古を致します
六、來年のお正月遊びに學校で講習を開いて載いて處女に大切なことをおぼへます
七、學校の運動會の時には敬老會を開きます

○處女會の實行事項

（前號口繪參照）

□福島縣双葉郡長塚村處女會□

目的綱領

第一條　本會ハ女子ニ必須ナル智能ヲ授ケ體力ノ增進ヲ圖リ婦德ノ涵養ニ努メ特ニ質素勤儉ノ美風ヲ作興シ溫良貞淑ニシテ健全ナル主婦ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條　本會ノ綱領左ノ如シ
一、忠孝ノ本義ヲ體シ溫良貞淑ノ德ヲ涵養スルコト
二、敬神崇祖ヲ旨トシ報恩犧牲ノ精神ヲ養フコト
三、品性ノ向上體力ノ增進ヲ圖リ健全ナル志操ヲ養フコト
四、日新ノ修養ニ勵ミ家政ニ須要ナル智能ヲ修得スルコト
五、家事ニ精勵シ質素勤儉ノ風ヲ作興スルコト
一、通常會員ハ補習學校就學ヲ督勵スルコト
二、同月次修養會ヲ開催スルコト
三、修養ニ關スル講習會講話會ヲ開催スルコト
四、副業ニ關スル講話會及講習會ヲ開催スルコト
五、裁縫、作法、料理法、育兒法、家事等ニ關スル講習會又ハ講話會ヲ開催スルコト
六敬老會、謝恩會、同窓會、追悼會ヲ行フコト
七、敬神崇祖ノ實ヲ擧グルコト
八、家庭改善及地方改良ニ關スル展覽會品評會等ヲ開催スルコト
九、婦人ニ適當ナル地方改良及公益事業ノ援助ニ膺ルコト
一〇、婦人ニ適切ナル慈善救濟事業ノ援助ヲナスコト
一一、風紀ノ向上ト言語及風俗ノ改善ニ努ムルコト
一二、視察旅行ヲ行フコト
一三、其他修養上適當ト認ムル事業ヲ行フコト

衛生問答

（至急を要する方は返信料を添へて申込みなさい、正しいとにはづかしい譯はない）

（問）私は二十一歳の處女ですが、月經の前後に白帶下があります、そして疲れて仲びでもしますと、フラ〳〵致しますどういふ譯でせう（心配女）

（答）少し位の帶下は別にさう心配するにも當りせんが血がまじるとか、餘計に出るといふならば、其は子宮內膜炎などの前兆ですから氣をつけなさい、心を爽やかにもつて、あまりくよ〳〵しないことです。

（問）私は十九歳の處女ですが、月經が永くて十日位あります、うつちやつて置いていゝでせうか、（〇〇女）

（答）大抵四五日が普通です、永くなりますと自然身體がいたみます。前後に養生をよくし、風邪をひかぬように田の草とりや、はげしい勞働はお休みなさい。

（問）私は十七歳の處女ですがまだ月のものがありません、身體がわるいのかと心配で誰にも相談も出來ません記者樣教へて被下い。（山梨心配女）

（答）日本婦人の平均來潮は十四年となつてゐますが、是は其の土地の寒温、其人の體格、職業にも依つて一樣でありません、十七歳は少しおそいようでございますがさう心配することはありませぬ。別にどういふことがなければ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

趣味講談

描かれた娘（其五）

天野雉彦

『まあ、兎に角よく見るがよい』と應擧先生が擴げたのを見て、何がかいてありましたでせう、お爺引つくりかへりました。

『せ先生、ご冗談なさります、こゝれは幽靈じやございませんか』『幽靈じやない』『幽靈でなくて何でございます』『死にかゝつた娘じや』『それならなほ氣味が惡いではございませんか』『なに仆れかゝつたお前の家へかけておくには、死にかゝつた女が丁度ふさはしい』『それは又あまりふさはし過るではございませんか』『いやさう云ひなさるな甚兵衛、お前は陰氣な時は陽氣な繪でもかけて陰氣を消さうと思ひなさらふが、私の考はちと違ふ、陰氣な時は陰氣なものをかけて早く陽氣に回へすのじや、冬がつもれば春にかへる、陰窮まれば陽に復る、それは小理屈とした處で、珍らしい繪をかけておくと、物見高い京洛の人々段々評判しあつて繪を見に來やう、そこでうんと酒肴を賣るのじや、價を倍にして賣んなさい』『そんなことを致しますと、なほ買手が減りまする』『なんのもしなぜかふ高いかと』聞いたなら『應擧の繪の値だと云ひなさい』『そんなことを申してよいでせうか』『なにお前の家がもり立つ爲には何と云つてもよいのだ』『それでもこれではあんまり氣がすゝみません』『おい甚兵衛さん、それはお前の氣の持ちやう、忌むといふ字は己の心とかく何事も自分の心のなすわけじや正月の元日に年始に出かける、鼻先に門松に女の轉かんが倒れかゝつて泡を吹いてゐる、飛んだ不縁起だと氣を腐ら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

してゐる處へ、狂歌師が飛び込んで、ナニが不縁起なものか、これを御覽とよんだ歌が『門松に仆れて泡をふくの神、これぞ誠に辨才天かん』とさ人は心の持ちやう一つ』『なるほどそれでは一つやつて見ませう』

甚兵衞も元氣がついて、それを掛けて商を初めますと、いや來る、見るものも見るものも、不思議な繪じや珍らしい繪じやとほめております『おい甚兵衞さん酒を持つて來てはいけないよ、只繪を見に來たばかりじや』『御冗談ばかり、手前の内は繪草紙屋と違ひまして、居酒屋でございますしきいを跨いだ人はきつと、酒を召し上るにきまつてをります』『何時からさうきまつた』『今日のお上のおふれで』『うそをつけ、しかし酒店へ來て飲まないのも不都合だ、ぢや一本持つて來ておくれ、なか〳〵甘いよ、大層品がよいナ』『手前方はいつも品を吟味して、どうかその繪をお肴に』『あまり肴になる繪でもないナさ勘定は』『ちとお氣の毒樣で』『なんぼじや、物の高いは通りものだ』『それがその八百で』『冗談云ひなさんな、たつたこれ丈だよ』『それがその丸山先生の繪の見代がはいつてゐる』『見料もとんなさるのか、いや驚いた』と不祥々々、金を拂つて表へ飛び出し『おい見たか』『何を』『應擧先生の繪を』『何の繪じや』『それは云はれない、とにかく行つて見い二度びつくりだ』聞いたものは何だか分りませんからきつと一度は見に來る、來る度に飲まされる、高い金をとられる、なるほど二度びつくり、此評判がたいしたもので、客があるある、爲に老人大ホク〳〵、年の暮にはすつかり借金を濟してしまつて、また幾何かの餘裕もある、これも畢竟應擧先生のお蔭だ、これからお禮に出かけようと思つてゐる處へ『甚兵衞内にか』とやつて來たのは應擧先生『どうじや繪は當つたか』『いや先生大當り大當り、あの調子なら二三枚かいておいていたゞく處』『さうあらふと思つて又一枚か

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

いて來た、來年の春かけを』『まあ何から何迄有難う、それでは矢張り幽靈で』『春早々幽靈でもあるまい』『それがその先生私の家には幽靈に限ります』『お前は緣喜が惡いと云ひなすつたではないか』『それがその人の心の持ち樣一つ忌むと云ふ字は己の心とかきまする、正月の元日に年始に出やうとすると門松に女のてんかん』『それは私が話したのじや』『なるほどこれは釋迦に說法』『なる程誰から聞かふが自分のものにして了へば、自分のものさ、遠慮しなさんな、しかし今度のはそれではないこれを見なされい』と擴げたのを甚兵衛つく〴〵見て『あゝこれは美しい娘の繪、年の頃なら十八九、文金の高島田、繪の帶の立て矢の字、婆さん一寸來て見なされい』『お爺さん私にも見せて貰ひませう』婆さんもつく〴〵見て居ましたが何を思ひ出しましたか、一としづく『おい婆さん氣をつけぬと、繪がよごれる』『お爺さんもあまり見てゐるとよだれが出るよ』『それでは甚兵衛さんよい年をとりなさい』と出て行かうとする應擧の袖をとらへ『まあ〳〵お待ち下さいませ、折角一口差し上げやうと思ひました』『いやそれは又來春にあづけよう』『それではあまり婆さんあれをもつて來な』婆さんが持ち出した、紙につゝんだ一と品を甚兵衛は應擧の前へ差し出し『さて先生、百貫のかたに編笠とやら、甚兵衛がほんの寸志、お歲暮がはりに差上げるは、私の家にとつては大事な品、どうか志はうけてくださいませ』應擧が何心なくとり上げて見ると中には錦のきれ『それは私の家重代持ち傳へましたもので、只かふ申した丈では御得心が行きますまい、私とて初めからの煮賣店の爺ぢやございません、これでも十年前迄は、天滿の五本の指におられた太物屋、ふとしたことから店を疊み、かうした商になりました』應擧は長崎の少女が送つた品と比べて見て、驚きました、そつくりそのまゝ、はてな『甚兵衛お前の家には娘があつたか』『先生、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『それは云つて下さいますな、語るも聞くも涙の種』『大歳の年に失ひなさつたか、しかも天滿の祭の宵』『へエツ、それを先生が御承知は』『定めてそれに逢ひたからう』『逢ひたい段ではございません、婆さんなどはなき暮らし、人に勸められて西國巡禮、その娘のありかをさがす爲、それも無駄ごと、人通りの多い此の大路へ、かうした店を出しましたも、世に云ふ業をさらす爲、行き來の人の噂に娘のことが上らふかと思ふたこともあだ今先生が仰るまで、娘のむの字も聞きません』それを先生が御存じは心掛りじや聞かせて下さい』『私はその娘にあひましたよ』『へエ逢つて下さいましたか、無事で居ましたか息災で』『氣の毒じや初めはかく〲終はしか〲、可愛さうなことをいたしました』『老ひたる親はもう泣くべき涙ももちません』『しかし甚兵衛さん親子の縁は深いもの其娘はとくに歸つておりますよ』『先生は冗談を』『お前の家を再興したは此繪、此繪こそ、娘の病みやつれて親にあひたい一念は屆くものか、と聞いた時の姿ぢや』孝女の一念天に通じて、我が筆にのつてかへり來る、親の難儀をすくつたのも、これも深い因緣でと、又來ん年から、かけろと云つてかいた繪は、娘の病おこたりしさ見し夜の夢をそのまゝにかいた繪、なにごとも夢の世の中、過ぎにしことを夢とあきらめ、この繪を娘の生きかへつた姿と思ひ、稼いだら、娘の心に叶ふわけだ、徒らに悲み傷り、病でも出すのは死んだ娘の菩提のたねにもなりますまい』と懇々とさとしましたので、甚兵衛夫婦は夢から醒めた心持、應擧が云ふがまゝに其繪をかけて、商ひますと、此尊い噂がひろがるも廣がつた、行つて見てやれ、助けてやれ、幽靈酒家一轉して美人酒屋莫大の利を得ました、老後を樂むに十分の外になほ澤山の財、いかにしようかと應擧に相談するともとより娘の迷子から起つたこと、迷子を早く親の身に渡す仕組に金を使つたらよからふすれば、娘の心が永久に生きる道理と、迷子じるしをたてるやら迷子をさがす人足をこしらへるやら、その爲世の中の仕合せたこと數へきれませぬ。（終）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

盆踊歌

山雀が山が憂いとて里へ出て
　里でさゝれて山戀し

山家〳〵と悪氣にいやる
　色の好い花山に咲く

花か蝶々か蝶々が花か
　來てはちら〳〵迷はせる

富士の裾野の一本薄
　いつか穗に出て亂れあふ

桔梗首振る薄は招く
　秋の花野の面白や

梅は匂いよ櫻は花よ
　人は心よ振りいらぬ

夫耕やす娘は稼ぐ
　妻は瀬戸へ出て米炊く

鳥も通はぬ山里なれど
　住めば都よ我が里よ

咲いた櫻になぜ駒つなぐ
　駒が勇めば花が散る

白鷺が小首かしげて二の足ふんで
　やつれ姿を水鏡

星をいたゞき月踏み歸れ
　農は御國の本ぢやもの

仕事しやんせよ、きり〳〵しやんと
　かけた襷の切れるほど

望みある身は谷間の清水
　暫し木の葉の下くぐる

桃の里から柳の里へ
　嫁をのせたる渡し舟

あれに見ゆるは茶摘ぢやないか
　茜襷に菅の笠

磯で名所は大洗様よ
　松が見えますほのぼのと

意氣な苅萱仇ふく桔梗
　そして風情な女郎花

玉川に咲ける卯の花岸白々と
　雪か月夜か置く霜か

こぼれ松葉をあれ見やしやんせ
　枯れて落ちても夫婦連れ

千里胡沙吹く風さへ絶えて
　淋し馬子唄冬の月

仲がよいとて禮儀を缺くな
　圓といふ字も角がある

腹に實のない瓢簞さへも
　胸に括りがつけてある

鮎は瀬につく鳥や木にとまる
　人は情けの下に住む

可愛らしいのは豌豆の花よ
　花は小花で濃紫

山で赤いのは躑躅に椿
　咲いて絡まる藤の花

須磨の浦には今里の子が
　吹くや青葉の麥の笛

船頭可愛や音戸の瀬戸で
　一丈五尺の艪がしはる

沖の鷗に汐時問へば
　わたしや立つ鳥波に問へ

何をくよ〳〵川端柳
　水の流れを見て暮す

末は袂を絞ると知らで
　濡れてみたさの花の雨

切れた草鞋も粗末にするな
　もとはお米の親ぢやもの

上を思へば限りがないと
　下をみて咲く百合の花

わたりくらべて世の中見れば
　阿波の鳴戸に波風もなし

目出度〳〵の若松様よ
　枝もしげれば葉も茂る

音頭とる人橘からをちる
　橘の下でも音頭とる

聲はすれども姿は見えぬ
　君は御山のきり〴〵す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

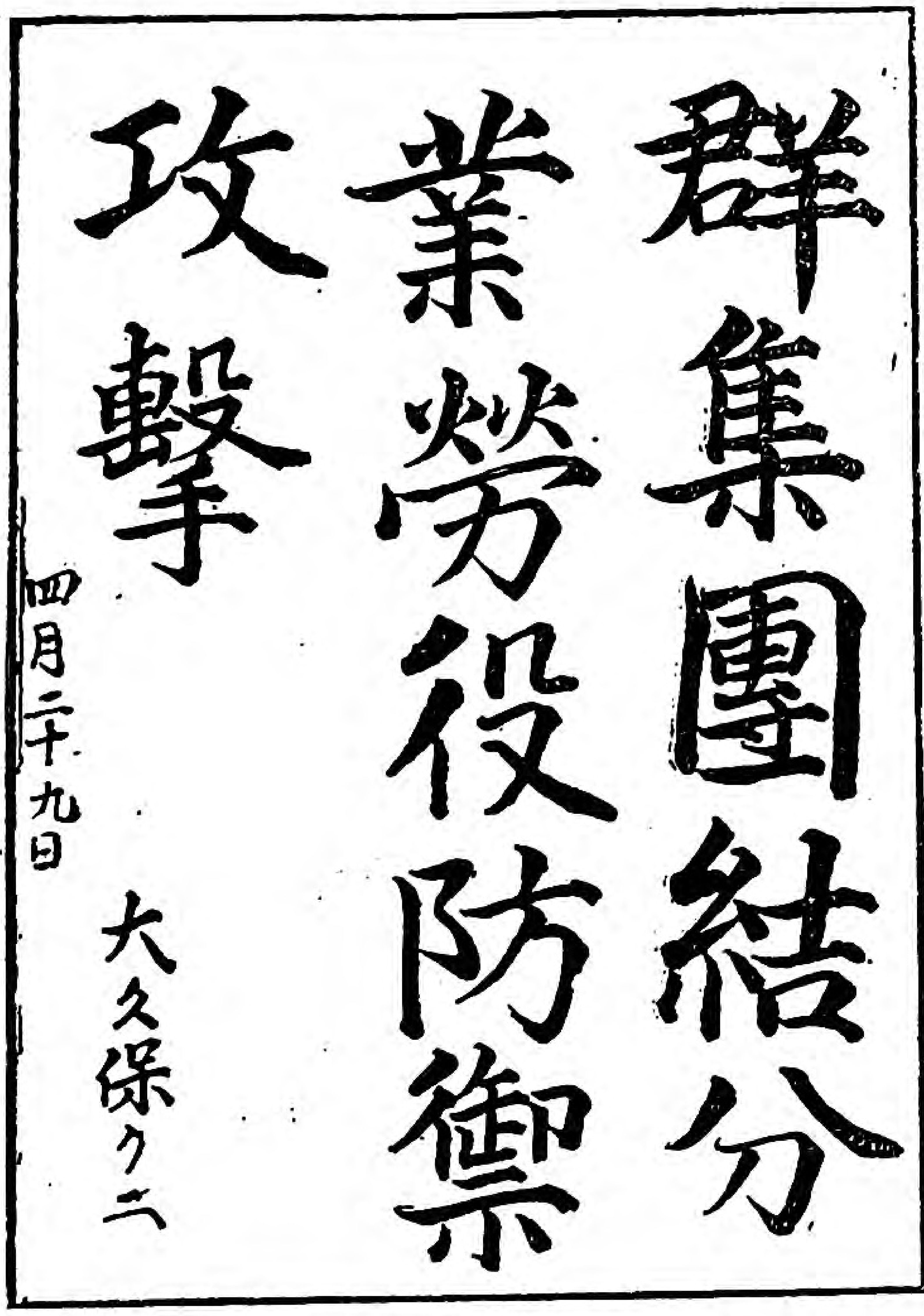
汗と涙の一千圓

——富士瓦斯保土ケ谷處女會の尼港遺族義捐——

保土ケ谷工場處女會は、こんどの尼港の大事件、殊に女子供まで、耳をさかれたり、腹を破られたりして無慘な殺され方をしたといふことを知り、パルチザンを怨むと同時にせめてそれらお氣の毒の遺族の方にお見舞をさしあげたいと會員一同義捐金の募集を始められました。

遠藤工場長も大變感じまして「其はよいことだ、おやりなさい」とすゝめました所、一人で一圓二圓と申し出る會員が多く、そのまゝにして置きますと、一萬圓以上になりさうなので、是ではあまり大變と、一圓の人は十錢、二圓の人は二十錢といふ樣に減らして貰ひました、其でもどうしてもといふ人が多く、みんなで一千五十八圓八十錢になりました。尤もこの中には、職員の方のも入つて居ります。けれど、處女會が主催となつて募つたのですから大變美はしいことです遠藤會長は、是は中央部から手續した方がよいといふので、七月五日に中央部へ出頭され、天野理事と相談して、全部國民新聞社へ托して遺族に分配して貰ふとになりました中央部も鼻が高うございます。處女會員が汗を流し、夜も寢らずにためたお金が、涙となつて義捐金と變つた。あゝたふとい

女工さんの習字



（巣鴨　東亞綿絲株式會社女工さん）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

懸賞處女歌壇

賞

天 宮城 牟岐あい子

母と我と唯二人にて語るなり
物淋しさの涙かくして

評 悲しさを胸につゝみてことさらに
涙をかくす母思ふ君

地 島根 山根ふさの

夏の夜のそゞろ歩きのたはむれに
とりても見たき露の白玉

評 露草の月に輝くその夕べ
歌思ひつゝ君はゆくらむ

人 滋賀 田原キト子

土黒く肥えし嬉しさ一念に
物作らむと畑を打つなり

評 極みなき心の富と野の幸を
味ひつゝもかせぐ乙女子

佳作

府下 田村百合子

しと／＼と小雨降る夕何となく
庭の陽紫花なつかしみ見る

岐阜 竹腰よさ枝

親一人子一人といふ淋し家に
病みなす君よ悲しかるらむ

福島 佐藤登枝子

笛の音はしばしとだえて蚊やり火の
ゆるくのぼれる山里の家

熊本 鵜野しえ子

人は皆水田に出で働くを
病の床に見つゝ暮しぬ

群馬 橋本登久子

鍬とりて野の幸歌ひ終日を
働く事の喜ばれぬる

宮城 二階堂たかを

そよそよと春田を渡る風かろく
親しき友と螢かる宵

福島 阿部きく子

夕されば蜩のなく山畑に
一人樂しく野の幸歌ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

言ひ知れぬ其の樂しさにほゝえみつ
鍬洗ひける暮の小川に
滋賀 中川トラ

佇める我か夏衣川風の
涼しくなきて日は暮にけり
滋賀 田原シヅ

たそがれの涼しき風にさそはれて
靜に歩む谷の川端
讃岐 政子

畑たばたがやし終へて木蔭にて
疲れし身體息づけるかも
愛媛 橋本澤代

小麥かる頃ともなれば初蟬の
聲かすかなり鄙のたそかれ
群馬 對比地こう

鍬たてる身より流るゝ汗水は
秋のみのりの肥となるらむ
靜岡 片平乙壽

懸賞俳句

賞

夕立や畑に忘れし鍬一つ　福島 佐藤登枝子

鏡とれば病みつかれたる面かなし　宮城 牟岐あい子

蟲の音を聞いて涼しき月夜哉　府下 田村百合子

賞外

姉の手に渡りて長き手鞠かな　島根 鶴女

山の手の名譽の家や鯉幟　愛媛 橋本澤代

病人に寄る蠅を追ふ日は永し　滋賀 田平キト子

蛙なく池にうつるや夏の月　府下 百合子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

臺所手引

○薑の赤漬

生薑一貫目に食鹽六、七合の割で十日間漬けておき後に梅酢に入れます

○茄子の麴漬

水一升に食鹽一合五勺の割にて煮沸せる液をさまして二日間茄子を漬けましてから米麴一升に味淋二合お酒三合、食鹽十匁を混せます。中形の茄子が百個ばかりよく漬ります。

○胡瓜の青漬

中熟の青き胡瓜を二つ割とし、蕊を去り洗ひ、豆腐　一升に食鹽二、三合の割に混せ、桶に幾重にも交せ互に漬込み、冷めたい所に貯へて置きます。

○茄子の味淋漬

一度鹽漬せし茄子を清水に浸し、鹽分を拔きよく絞りて薄く切り、之に味淋酒を注ぎ二週間ほどをきます。

安心して食べらるゝ八月の食物

□安心の八月の食物

○魚類

鮪、さはだ、さめ、はも、ふか、ふぐ、ふつご、やす、ひらめ、そげ、はうぼう、烏賊、いさき、しやこ、かます、かながしら。

△鰤、鱒、鮭、鰹、いせゑび、は用ひず。

川魚では鮎

○貝類

みるこう、あか、あかにし、あはび。

△かき、蛤は用ひず。

鳥類、鴨、雉

△鷄は用ひず。

○獸類

山羊、羊

△豚は用ひず。

○野菜

蕪、さつまいも、濱ぢさ、瓜、豆十六さゝげ、藤豆、落花生、蓼、らつきよう。

○洋菜

パセリ、クレソン、トマト。

○胡瓜揉のかけ醬油

皮を剝いて腹をこそげ、薄く外口切にし鹽水の中に浸し、目笊にさりあげて水氣を斷ろ、別に青紫蘇の葉を水で洗ひ莖をさつて、細かく刻み、之に前の胡瓜をまぜ、水氣を斷つて小皿に盛り、醬油をかけて出す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

はがきをもつて御來會下さい。長いお話は御免下さい後れた方は次の月

()極く簡單に多くの人とお交りするといふ主意で、御座います皆樣——眞實に美しい交際によつて新らしい智識を得度いとの熱心をもつて誌友くらぶに御遠慮なく御投稿下さいそして皆樣と記者とも親しくお話をいたしませう(係り)

▽天野先生樣厚く御禮申上ます毎月乍ら優しい爲になる處女の友を拜見致しますし、亦處女の友の仲介に依つて妾は宮城縣登米郡石越村の二階堂たかを樣と文通する事が出來ました、さらば天野先生、與北の二階堂樣健在にておわしませ。(廣島縣豊田郡長今村沼田　沖之艷子)

▽記者樣私は處女の友を取るやうになつてより久しくなりますのに、未一度もお便り致しませんでした、あしからず、お許し下さい、おろかなる者故何とぞ御敎導下さい、誌友の皆樣よろしく御交際を願ひます皆樣御身御切に、(島根縣簸川郡金津村須藤香代)

▽皆樣はさだめしあの廣い野で五月六月の表紙のやうなお姿でお働きのことゝ存じます、お暑くなりますから誌友の皆樣、御身大切になさいませ、そしてお交り下さいませ、(宮城縣登米郡石越村二階堂たかを)

▽私は會津の田舍の處女會員ですが處女會發會と共に此方一部もらさず拜讀致して居りますいつも乍ら有益な記事ばかりで私等處女をお導き下さいましてありがたう御座います、此頃は終日田畑に出て働き歸つてはなつかしい妾等の友處女の友を讀むのを何よりの樂しみとして居ります(福島縣大沼那川路村處女會員松崎キヨ子)

▽都の記者樣、おすこやかに御暮し遊ばされますか、私は百姓の娘です此頃は麥刈に養蠶、田植の取中で、まことにいそがしう御座います、夕方田を植て家に歸ると家では母がお蠶の世話に忙がしさうにして居られます、夕食をすますと皆び給桑をして居ます、それがすんで十一時過ぎから私は大好な處女の友を讀みます私が床につくのは十二時過です。(滋賀縣蒲生郡市邊村河上かれ子)

「よく家の手傳ひをして餘暇に勉强をなさるのなほんとに感じだと思ひます(記者)

▽記者樣君子先生の開會の御言葉を第一に盛會なる誌友くらぶの賑やかなまとゐが開かれました全國の皆樣のお話がまあ四頁にいつぱい、ほんとに面白う御庫います高木比佐子樣七月號でみやさしのお言葉有がたう存じます。(宮城縣石越村菱紀あや子)

▽今日は上天氣と成りました、妾は足取も輕く野邊に薪とりに行きました、道すがら最愛なる友人「處女の友」小さな小供の手を引て行きました、小さな小供でもよく妾によい事を敎へて下さいますのでほんとに嬉しくなりません、段々と讀み行く中に房子さん方の所になりました、妾のやうに情知らずでも思はずもらひ泣をしました　(肥後熊本齋藤ひさ子)

▽私は會津女學校の三年生で毎日汽車で時學致して居ます、先學年は本校で嘉悅先生の有益なお話しに胸をときかせました何卒私も誌友くらぶにも仲間入りさせせいただきます。(福島縣喜多方町東條まさ子)

▽諸先生にはお變りもあいませんか私は淋しい田舍に此の有益なる處女の友になぐさめられ日々の田園生活も野の幸を歌ひながら樂しく會津のもとに働いて居ります、何卒御指導下さいませ、猪苗代の菅野會是樣お暮しう御座います、ごうぞ故鄉の處女會員をお導き下さい誌友の皆樣よろしく、(福島縣安達郡戸澤村大内さめ)

▽記者樣私は母と二人で淋しく暮して店ます、けれどもこの二月より本誌の愛讀者に入りまして御誌を何よりたのしみと致して居ます、(福島縣大沼那川路村佐々木マサエ)

お母樣に孝行をなさいまし(記者)

△床しい香の薔薇の花咲く頃となりましたから薔薇のお話を致しませう　昔ヴーナスといふ美の女神が地中海より生れて來た時、希臘のかたはらなるロース島に薔薇の花瓣を降らせつゝ生れたといひます。又、彼の人類の大祖と言はれるアダムイブがエテンの花園に逍遙して居た時、イブが咲き包ふて居る薔薇の一輪を採つて唇にあてゝその香を嗅ぎますとイブの唇の紅い色が移つてそれから赤いばらが出來たのださうです、その以前は白い色のしかなかつたと傳はつて居ります。(宮城縣石越村卒岐愛子)

△私は田舍に住ひして居て一人ぽつちの者ですがこの有益な「處女の友」を愛讀致しますず度に今までの暗きかげは何處かへ飛び去り明るい世の中へ出た樣な氣がして何だか肩身が廣うなつた事をさとります是も皆諸先生のお蔭で御座います、先生私の村

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

で女子同窓會が御座います、いつか會の狀況及び會則をお送りいたしませう。（長野縣筑摩郡五當村瀧澤やよむ）どうぞお送り下さい（記者）

▽處女會の歌詞はわかりましたけれどもどんな樂譜がついてゐますやら、どんなにして歌ふかわかりません、いつかの誌上に掲載して頂けませんでせうか、（廣島縣濵井春美）
何れ掲載する事にいたします（記者）

▽先生方には御機嫌よう居らつしやいますことゝ存じます。私は風邪のため苦しめられましたがやうやく一命をとりとめました、絞染講習會や總集會もいたしましたか風邪のためお知らせ致す事が出來ませんでした（山梨縣中巨摩郡西條村名執政子）
長崎縣南松浦郡有川村處女の友愛讀者さん仰手紙有難く拜見いたしました（記者）

私は今年の一月より處女の友の友達となりまして無二の明友と思つて居ます、私は家に居り　時から讀書が大好でしたので當工場に參りましてよりは尙一層親はしく雨につけ風につけ、さびしき私の心は雜誌と言ふものになぐさめられて居りますこの貴き處女會が日本全國到る處に現れますやうに祈ります。（さびしき私より）

▽私は處女の友讀者で十六歲でございます。父母の仰せに從ひ三州二町糸德製糸場の工女を勵めて居ります私には三人の姉と一人の兄と一人の弟があります。三人の姉達は皆、眞面目に働いて緣付きました兄も非常に眞面目に働き仕事のひまには、讀書、修養をし居ります。弟も怠らす小學校へ通學して居ります。だから私も處女訓を固く守り、强く優しく眞面目に働いて、兄の方となり、お家の爲に働き父母に孝行致す決心で御座います。（靜岡縣小笠郡增田キク）

▽六月廿一日に仙臺市に女教員研究會がありまして私も出席致しました東京高師の佐々木吉三郎先生や森本縣知事の有益なお話を聞いて參りました。（宮城縣二階堂たかを）

▽宮城のあい子樣御したはしう存じます誌上にて御病氣の由承知いたし自分の身につまされて御同情申上げます身體の弱い程悲しい事はありません。（熊本縣鵜野しえ子）

▽お暑さのお變りもありませんかお伺いたします淸い誌上に拙い私の手紙をお載せ下されますとに有がたう存じます。私の病氣と大變經過がよくてお醫者樣も大丈夫と由されましたから御安心下さい、全快紀念には田舍娘の寫眞お笑ひげさに送ります（牟岐あい子）

▽どうぞ寫眞をお送り下さい（記者）

▽天野先生が尊いお手をおさり下さいました何といふ有難いことでせう私共はかうした先生のお情を受けて徐ろに成長してゆかれるかと思ふと何となく心强さを覺えます天野先生は來年一月當地へお趣し下さいますさうです、そしたら皆して先生を取りまいて珍らしい都の話を聞きませう其れを樂しみに强く優しく眞面目に働きませう。（岐阜竹腰よそえ）

▽先生私どうしたら好いでせうか私一人で惱んで居る事が御座います私自分で考へまして私の身の上はたの人には話されないのですそれで處女の反の愛讀者となりましてから先生が私の相談を聞いて下さると信じます先生いかがでせう。（東京府下大島町中村キン子）

▷何でも苦しい時には御相談にお出なさい心の底から同情をもつて幸福になるやうに考へませう（あまの）

▽私は山村の片用舍の處女です去年の九月から處女の友を無二の親友として居ます父なき私は御誌によつてそれほど慰められて居るか知れません誌友の皆樣よろしく御交際を。（滋賀縣蒲原郡市邊村布施田シヅ）

▽宮城の牟岐あい子樣、香川の岩井つや子樣おなつかしう存じます不束な妹にお手紙下さいませ誌上の皆樣おすこやかに……（群馬縣新田郡九合村對比地こう）

▽比對地こう子さんから細々とお手紙頂いて嬉しく思ひましたどうぞ年老い給ひし御兩親のために一生懸命に努力して下さい。（あまの）

▽福島の鈴木禮子樣御志有難う存じままこれがらお手紙さし上ぐますから何卒御交際下さい。（熊本縣津奈木村鵜野しえ子）

▽私も誌友くらびに御中間入りさして下さい。（島根縣簸川郡灘分村鶴女）

▽私は川路の處女會幹事であります、川路でも去年から會を開かれました開かれないうちは何んとなく心が淋しくてなりませんでしたが處女の友を愛讀するやうになつて愉快になりました記者樣御身御大切になさるやう祈ります、（大沼郡川路村松崎てるい）

▽お暑う御座いますが本誌の記者樣には御健やかにお暮しの由うれしう御座います、天野先生當地にお出で下さるとの事歡迎いたします誌友の皆樣御きげんやう共に會訓を實行し處女會の歌を盛んに歌ひませう、（福島縣猪苗代町菅野房子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○『處女の友』誌友名簿（五）

香川縣仲多度郡垂水村處女會員　內藤モトエ、本田イトエ宮武マサノ、山本ソノ、奥田マツミ、奥田キクエ、岩井ツヤ、渡邊マスエ、西川アヤノ、古市ヒイ子、大西エキ、田邊アキエ、福田ツネ、大山スエ、松浦シゲノ、瀧口セン子、長野縣下伊那郡山本村　淸水いさゑ、福島縣河沼郡實坂村　五十嵐昌子、同縣同郡片門村　大竹千代子、長谷川みよ子、岩手縣上閉伊郡宮守村　小田島雪子、福島縣南會津郡伊那村　河原田ハナ子、福島縣大沼郡旭村　千葉ミツチ、愛知縣一ノ宮町　愛知製糸所田口カギエ、香川縣綾歌郡畑田村　浮田ハルノ、宮崎縣東臼杵郡南郷村　黑木ツメ、神奈川縣津久井郡與瀬町　山下ゑみ子、和歌山縣有田郡保田小學校　江尻一枝子、長野縣諏訪平野村　今井ひさゑ、岐阜縣可兒郡御嵩町　田口かめよ、東京市牛込區早稻田　山崎眞、群馬縣勢多郡木瀬村　今井きみ、岐阜縣安八郡名森村　富田てるを、鳥取縣西伯郡渡村　築谷誠、滋賀縣八幡　吉川知惠、岐阜縣吉城郡河合村　水間やす子、福島縣石城郡磐崎村　酒井千代之、愛媛縣伊豫郡南山崎村　越智玉樹　森岡ミツエ、吉澤イツヨ、山岡サノカ、福島縣北會津郡荒井館ノ內村　聯合處女會、同村二日町牧原みつ、福島縣耶麿郡奥川村　杉本サク、岡山縣苫田郡阿波村　山本彥四郞、福島縣耶麿郡長瀬村　宮澤テル子、愛媛縣喜多郡村前村　金子タケヨ、向井マスミ、鹿兒島市女子技藝學校　彌菊子、宮城縣本吉郡名足婦人會長、宮崎縣兒湯郡於郡村　原田文子、京都府加佐郡有路上村　眞下絹、廣島縣甲奴郡階見村處女會、山形縣西村山郡西山村　佐藤玉尾、岐阜縣郡上郡和良村　三島豊、三重縣一志郡伊勢地村處女會、岐阜縣益田郡萩原町桂川もと子、埼玉縣入間郡富岡村藤野つれ、大分縣東國東郡上岡崎村役場、長崎縣西彼杵郡三重小學校　安中ハヤ、德島縣那賀郡新野町尺長アサノ、熊本縣蘆北郡湯浦村圖書館、岐阜縣惠那郡中津町　勝野第一工場樋田かず、東京府御藏島　西川石松、福島縣安達郡上北小學校柴田善治、香川縣三豊郡二宮小學校、廣島縣沼隈實業補習學校、福島縣田村郡御木澤村處女會、福島縣耶麿郡奥川村女子會、秋田市室町　笹山せき、青森縣上北郡藤坂村　加藤源三、岩手縣氣仙郡竹敷村脇坂菊野、京都府竹野郡間人村　米田なを、東京府御藏島　栗本キツ、北海道標津郡標津村　佐藤淸竹、靜岡縣庵原郡庵原村　谷豊吉福島縣安達郡新殿村　杉澤婦人同窓會、同郡同村三瓶イセヨ、福島縣平町第二小學校、島根縣簸川郡大津村　須藤香代、青森縣下北郡白糠　赤田さき子、岐阜縣武儀郡上麻生村正女會理事柴田加賀一、同臺處女會員林チヨ、福井三ミイ、福井トモ、大矢はぎ　林きくゑ、林たゝゑ、松山かち子、松山かみゑ、大矢シイ、松山みを、加締納たじ、同室衆女部會員野中らく、野中きく、渡邊拾子、土屋千代子、土屋艶子、土屋た津ゑ、渡邊たけ子、土屋すな、土屋よきゑ、南滿洲大連市大連病院內福井松代、杉村まき子、小島禮子、滿洲鐵嶺郵便局官舍　伊藤さみ、三重縣飯南郡射和村近藤久次郞、三重縣阿山郡花之木村大野水長谷川操、香川縣仲多度郡垂水村　山本ミユキ、香川縣三豐郡大野原村　矢野トモエ、愛媛縣喜多郡村前　上本シゲニ、大分縣西國東郡上眞玉村　安部キクエ、佐賀縣東松浦郡鏡村　宮愛武、熊本縣球磨郡藍田村　山本ワキ、宮崎縣宮崎郡生目村　平松菊衞、鹿兒島縣伊佐郡羽月村　若松照子、鹿兒島郡中郡字宇村　今四郞、鹿兒島縣川邊郡勝邊村　西牟田すみゑ、靜岡縣小笠郡大坂村　増田キリ、岐阜縣安八郡安井村　淺野たかを、岐阜縣安八郡南平野早崎なか、岐阜縣郡上郡八幡高等女學校　岐阜縣加茂郡黑川村　藤井ワサ子、岐阜縣安八郡名森村　矢野たかさ、安藤八千代、岐阜縣安八郡下宮　山下ゆきの、岐阜縣益田郡萩原村　桂川もと、愛知縣一ノ宮町　遠藤なみ、愛知縣碧海郡矢作町　太田準悟、神奈川縣愛甲郡下川入　よもぎ會、東京府南多摩郡由井村　第三由井小學校、同郡鑓川村　須崎けい子、同郡由木村佐藤副太郞、千葉縣印旛郡八生村　加藤きく、同縣安房郡豊田村　鵜山喜一、耶群馬縣邑郡西谷田村　片柳靜枝、群馬縣利根郡白澤村　小野好愛、群馬縣佐波郡采女村　岡崎その、群馬縣利根郡白澤　角田英子、栃木縣安蘇郡飛駒村　惠田千代、長野縣下伊那郡智里　玉井きみ子、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

懸賞處女文藝募集

第一種

作文（田舍の友へ／町の友へ／工場の友へ）
和歌（題隨意一人三首）
俳句（題隨意一人三句）
考へ物（下の題を見よ）
習字（半紙一枚六字）

第二種

處女會の寫眞
田園生活の感想
有利なる副業內職
地方篤志婦人の事蹟
田舍より見たる都會

第三種

處女倶樂部（はがき一人一通）
衛生問答（一人一問）
處世問答（一人一問）

○田子內務書記官が今月原稿を下さる筈でしたが、議會の爲非常にお忙しかつたので、次の月にお願ひすることになりました。

○同氏はこんど處女會の理事となられ、專ら本會におつくし被下ることになりましたことは、非常に仕合せなことでございます。卷頭の日々の心掛は、まことによい教へでございますから青年會員たる兄さんにもすゝめて下さい。

○同氏の近著「新時代の婦人へ」は神田南神保町二白水社出版で非常によい本ですから指導者の方はおよみ下さい。

○尙皆さん又はお友だちの中で、看護婦に志願の方は、神田錦町三丁目樋口ろく子樣方に御申込み下さい。同氏は非常に同情あつく信誠看護婦會を創立して居られます。學校をも開いて居られます。

○保土ケ谷工場では、十六日に盆踊を催うし、併せて「都に憧れて」を映寫して縱覽せしめたそうです。盆踊は孝行の踊でございますからそのつもりで踊つて下さいまし。

○國府理事は九月下旬歐米漫遊を修つて歸朝されますよいお土產が澤山ありませう。

七月號考物の答

七月號考へ物は「十月十日は毎日あることですが何のことですか」此の答は朝といふのが正しいのです朝の字を四つに解くと十月十日となるからであります又當月當日といふのも解答者のうちに入れました。抽籤の結果は左の方々にあたりました。

○長崎縣西彼杵郡三重村處女會　安井ハヤ
○埼玉縣比企郡唐子村　稻村ツル
○福島縣耶麻郡月輪村中小松　渡邊みな
○神奈川縣保土ケ谷工場內　小畑はしめ
○岐阜縣武儀郡上麻生村葛屋　福井ミイ
○宮城縣登米郡石越村　二階堂たかを
○愛知縣一ノ宮町片倉製絲場內　遠藤なみ子
○群馬縣勢多郡木瀬村女屋　眞下やす子
○福島縣双葉郡長塚村修齋校　畑中シケ
○香川縣三豐郡二ノ宮村　富田登羅
○廣島縣御調郡河內村丸門田　川口ミサ子
○北海道中川郡白人村　內海千代子
○東京市本所區押上工場內　溝口さかゑ
○福島縣河沼郡廣瀬村三谷　佐藤うん
○滋賀縣蒲生郡市邊村　平井美津
○長野縣諏訪郡平野村製糸場　竹腰アサエ
○佐賀縣藤津郡鹽田町宮元　野田さゝ美
○神奈川縣保土ケ谷工場九九號　酒谷スエ
○鹿兒島縣出水郡東長島村　磯部照子
○青森縣上北郡佐井村　北村ミツ
○石川縣羽昨郡稗造村　河村音枝
○新潟縣北魚沼瀬郡廣村　大原松代
○秋田縣由利郡岩谷　田村たき
○三重縣度會郡中島村　田中よれ
○山梨縣西八代郡五開村　若尾ます
○富山縣婦負郡仁歩村　上野春子

考へ物新題

○二十斤の野菜は何でせう。

答はハガキに限る。本郷元町二丁目處女の友發行所宛のこと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

暑中御見舞

○編輯だより

○山に海に暑さを避けてそれでも身の置き處なく暑い暑いとこぼす人、あくまでも暑さと鬪つて額の汗をぬぐふ暇もなく力の限り野に働く人、世はさまぐ\で御座いますねえ。

○處友の友を讀む皆樣はきつと暑さと鬪ふ精力家である事と信じます。そして貴い汗の結晶が秋の實となつて日本國中の人の寶となります、何といふ嬉しい事ではありませんか。

○評議員の寫眞は都合により一回休みます

○天野理事は信州方面に講演に行かれ又々福島縣へ出かけられます、紀行文は歸てから書かれます。

○都に憧れてのフイルムが出來ました追々各地に廻ります。

○福島縣で處女會の訓令が出ました眞實に處女の行くべき道を縣廳で考へて頂くやうになつたといふ事は誠によろこばしい事です。皆樣の中で訓令の欲しい方がありましたら福島縣廳迄申込みさい。

○ニコライエフスクで多數の日本人があの憎らしいパルチザンの爲に虐殺されました日本人としてこんな悲しい事はありません。

○田植、養蠶、引つゞいて炎天に田草とると夏の農家は忙がしい事でせうほんとに皆樣は元氣よく働いて居ますが身體は丈夫ですか。

○お一人で多勢處女の友の讀者を紹介して下すつた方が幾人もあります。どうぞ熱心に誠の正しい道を行くために良いお友達を多くして下さい。

○懸賞作文は誌面の都合で掲載出來ませんでしたが來月の分に廻しました。

處女の友改正定價表

毎月一回一日發行

定價	一部	半年分	一年分
定價	拾八錢	壹圓八錢	貳圓
郵税	五厘	不要	不要
合計	拾八錢五厘	壹圓八錢	貳圓

廣告料	一頁	半頁
特別面	貳拾五圓	／
普通面	拾五圓	九圓

注意

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に「前金切」と捺印して通知に代ふ◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎郵券代用は一割増のこと
◎外國行は郵税實費を申受く

大正九年七月二十八日印刷納本
大正九年八月一日發行

發行人 印刷人　東京市本郷區元町二ノ六六　田所𫝶猪

編輯人　東京市麹町區紀尾井町三番地　天野藤男

處女會中央部

印刷所　東京市京橋區弓町十二、三番地　千代田印刷株式會社

東京市本鄉區元町二ノ六六
處女の友發行所
電話小石川四三八四番
振替東京六一一九〇番

大賣捌　東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他

暑中御見舞

大正九年八月

處女會中央部理事（イロハ順）

井上秀子
甫守ふみ子
大江すみ子
嘉悦孝子
吉岡彌生
田所楠猪
山脇房子
福島四郎
高野重三
國府種德
跡見李子
天野藤男
宮田修
三輪田元道
下村壽一

青年圖書

大久保四洲著

青年訓話 軍神乃木

著者の麗筆に依りて將軍の面目書中に躍出す

四六版三五〇頁
定價四拾錢
＝送料四錢＝

青年團員手帳

青年團員必携の信用狀△總クロース和紙堅牢無比△青年團中央部編纂
定價拾錢＝送料三部迄貳錢

帝國青年の歌

豪壯の歌勇快の曲＝△青年團中央部選△島崎東京音樂學校教授作曲
定價五錢＝送料九部迄貳錢

青年團體操

器具不用且場所を要せず實行簡易陸軍戸山學校選青年團中央部編纂
定價五錢＝送料四部迄貳錢

緬羊の飼ひ方

青年團中央部農業主任和田稔新著平明懇切總振假名付袖珍形頗美本
定價六拾五錢＝送料四錢

青年團指導

青年團改善指導の標準書△青年團中央部編纂△菊判三百八十有餘頁
定價壹圓參拾錢＝送料拾貳錢

趣味讀本 通俗文學

文部省普通學務局玉井廣平先生著青年の娯樂月課外讀本として好適
定價七拾五錢＝送料六錢

地方青年の教養

內務省監察官守屋榮夫先生著△青年團員教養に關する新研究の發表
定價壹圓參拾錢＝送料拾貳錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶、指導者の研究舞臺修養、研究、向上娯樂の資料、各團體の連絡機關
定價一部金十五錢郵稅一錢、半年分前金九十錢一ヶ年分前金一圓七十錢

帝國青年發行所
東京市麴町區永田町一丁目
振替口座東京二一六八番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

創刊十五年地方振興民力涵養の機關

斯民

八月號 ▣ 一部一冊 錢 一年三圓 六十錢

- 眞善美なる自治の大本……法博 岡實
- 最近獨逸に於ける社會改造……東根四郎
- 米國の社會事業……田子一民
- 現代人と業務的精神……乘杉嘉壽
- 遊興税と觀覽税……三邊長治
- 社會運動としての國民教育……三上孝基
- 青年の元氣善用……村田宇一郎
- 優良自治體の建設……牧野虎次
- 新講談 出世の夕立……天野雉彦
- ▣全國町村長會彙報

內務書記官田子一民先生著

米國に於ける禁酒戰

〔再版〕◎定價金參拾錢 送料四錢

世界の驚異たる全米國の禁酒法案通過は現代に於ける最も注目すべき社會運動たり。著者曩に歐米を巡遊し、親しく米國に於ける禁酒運動の由來と其沿革とを究め、感慨禁ずる能はざるものあり、歸來自ら多年の嗜好たりし飲酒を斷ち敢て此一書を提供して同胞の反省に資せんとす、請ふ一讀あれ。

愛知縣立農林學校長 山崎延吉先生著

婦人の覺醒

五版

▣價二十五錢 ▣送料二錢

附表 女房の善惡鏡

本書は婦人の天職を明かにし、其の自覺に資し、其の向上に後援せんが爲め、著者が滿腔の同情を以て著はされたる者なり。

發行所 東京市赤坂區溜池町三十一 中央報德會 振替東京九七〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

内容見本無代進呈

小野鵞堂習字雜誌

書道研究

文部大臣許可社團法人斯華會　東京神田猿樂町三

本月號出來

内務省囑託　天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價八十錢　送料六錢

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奨む

東京市本郷元町
丙辰出版社
振替東京三三三〇〇番

東京市麹町區元園町一の四七　處女會中央部東京代理部　振替口座東京一六一〇〇五番

▲押川春浪著

春浪快著集

(洋裝四六判全四冊)

定價各冊金貳圓參拾錢
郵税各冊金十八錢

君國少年に武俠的精神を鼓吹せる春浪先生の遺著を蒐集したもので若い元氣のある少青年は是非一度は讀まねばならぬ書であります。

押川春浪著
◉空中の奇禍（第二版）
定價金壹圓
郵税金十二錢

野村壽惠子譯
◉シベリアの少女（第二版）
定價金壹圓
郵税金十二錢

巖谷小波著
◉お伽芝居十八番（第二版）
定價金壹圓八拾錢
郵税金十二錢

巖谷小波著
◉お伽口演集（第五版）
定價金壹圓四拾錢
郵税金十二錢

巖谷小波著
◉お伽花見車（第二版）
定價金壹圓六拾錢
郵税金十二錢

巖谷小波著
◉お伽新日本（第三版）
定價金壹圓參拾錢
郵税金十二錢

○御注文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

賜天覽
賜台覽

好評六版

指導經營 研究美績 青年團及處女會

前內務大臣 水野錬太郎序
前文部大臣 岡田良平序
樞密顧問官 一木喜德郎序
前文部次官 田所美治序
宮內兼內閣 兼內務省囑託 國府種德序
內務省囑託 天野藤男著

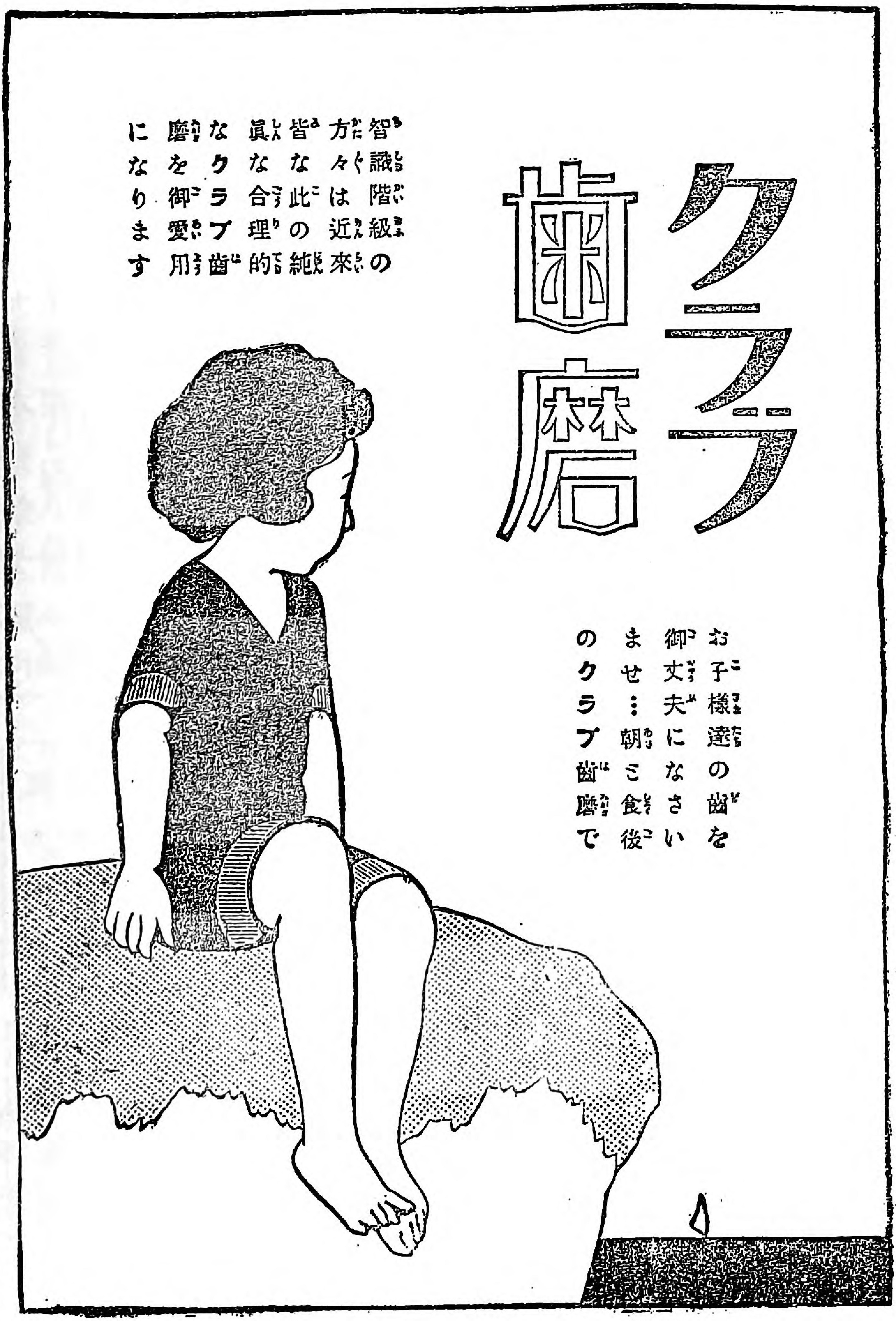
四大特色
材料豊富
文章簡明
統計確實
識見卓越

菊版四五〇頁
箱入美本
定價二圓五十錢
送料十二錢

青年團の研究者にして處女會の唱道者として識られたる著者が多年の苦心に成れる著述でありまして青年會處女會の歷史から組織經營の方法實例事業の種類優良團體事蹟など正確なる事實に就き掌に取る如く簡明に敍述してありますので青年會處女會の指導者には此上もない參考書であります。外國の青年會處女會の實例や青年團の研究などは他の書物に見ることが出來ない文字であります。

發行所 東京市本郷元町二ノ六六
丙辰出版社
振替東京三三三〇〇番

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正九



東京市本郷區元町二ノ六六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN